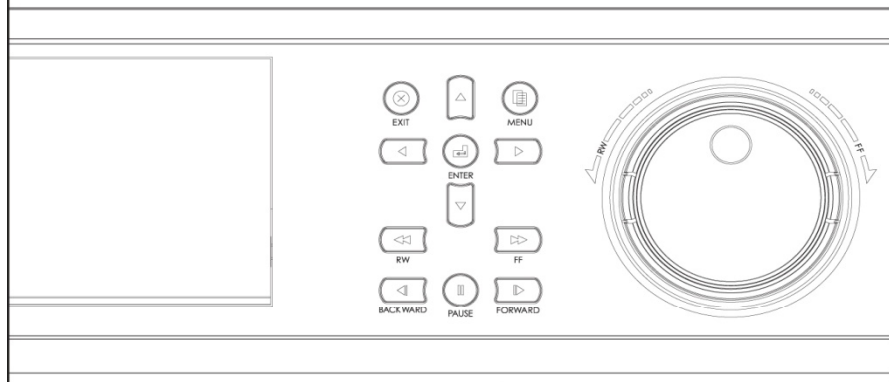
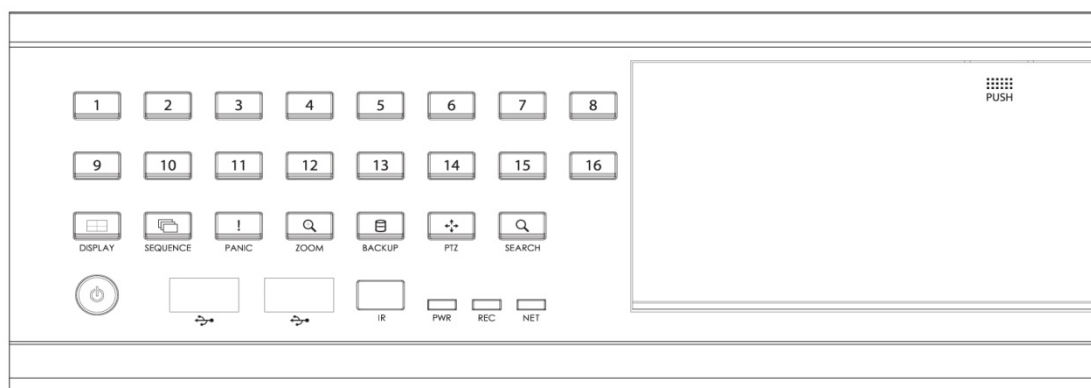




SHR-404A
SHR-408A
SHR-416A

取扱説明書

ハードディスクレコーダ



目次

仕様書	4
使用上の注意	5
主要仕様	9
システム構成図	10
システム構成品	11
システム説明	12
フロントパネル(4CH)	12
フロントパネル(8CH, 16CH)	13
リアパネル(4CH)	14
リアパネル(8CH)	15
リアパネル(16CH)	16
リモコン(4CH)	17
リモコン(8CH, 16CH)	18
接続と電源	19
ライブ表示	20
画面分割	20
ライブ画面の設定	21
デジタルズーム	22
シーケンス	23
ボタンロック機能	23
PTZ設定	24
パニック設定	24
プリセット設定	25
プリセット設定方法(4CH)	26
スイングとフォーカス、アイリスの設定(4CH)	27
スイング設定方法(4CH)	27
フォーカスとアイリスの調整方法(4CH)	28
リセット設定方法(8CH, 16CH)	29
スイングとフォーカス、アイリスの設定(8CH, 16CH)	30
スイング設定方法(8CH, 16CH)	30
フォーカスとアイリスの調整方法(8CH, 16CH)	31



目次

システム設定	32
ディスプレイ	32
OSD	33
モニター	34
シーケンス	35
スポットアウト	39
録画メニュー	40
タイマー／モーション設定	41
パラメーター	41
スケジュール	44
アラーム録画のスケジュール	47
カメラ	48
カメラタイトル	48
PTZ設定	49
カラー設定	50
動体センサー	51
サウンド	54
オーディオ	54
操作音	55
イベント/センサー	55
HDDイベント	56
アラーム入力	56
アラームアウト	57
ブザーアウト	58
Eメール通知	59
システム	60
日付 / 時間	60
ネットワーク	61
メール	62
ユーザー管理	62
システム情報	65
コントロール装置管理	66

目次

ディスク管理	67
検索	68
時間検索	68
イベント検索	71
バックアップ	73
クライアントソフトウェア	76
設置	76
機能紹介	78
ローカル設定	79
マネージャー接続	79
グループ追加	80
画面/その他設定	83
DVRリモート設定	84
録画	84
カメラ	85
サウンド	85
イベント/センサー	86
システム	87
モニタリング	88
ネットワークID選択	88
画面分割選択	88
PTZ制御	89
ライブ画像保存	90
イベントビューアー	90
検索	91
機能説明	91
検索方法	92
検索オプション	93
ウェブクライアント	98
ウェブクライアント接続	98
保証書	100



仕様書



品番	SHR-404A	SHR-408A	SHR-416A
電源	AC100V 50/60Hz(付属品ACアダプター)	AC100V、50/60Hz	
消費電力	35W	70W	70W
外形寸法	約360(W) x 66(H) x 400(D)mm	約430(W) x 88(H) x 395(D)mm	
重量	約5.6kg	約8.6kg	
HDD	500GB/1TB(オプション)		
温度範囲/湿度範囲	4～50℃/10～80%		
信号方式	NTSC/PAL(背面切替)	NTSC/PAL(自動切替)	
圧縮方式	映像:MPEG-4 音声:G711		
カメラ入力	4	8	16
カメラ出力(ループ)	4	8	16
モニター出力	コンポジット×1、アナログRGB×1、S-VIDEO×1		
スポット出力	1	2	4
音声入力	4		
音声出力	1		
アラーム入力	4(無電圧a/b接点切り替え式)	8(無電圧a/b接点切り替え式)	16(無電圧a/b接点切り替え式)
アラーム出力	1(無電圧接点) (アラーム出力、モーション検知出力、ビデオロス出力、ハードディスク異常出力を選択可能)	8(オープンコレクタ) (各出力毎に、アラーム出力、モーション検知出力、ビデオロス出力、ハードディスク異常出力に選択可能)	16(オープンコレクタ) (各出力毎に、アラーム出力、モーション検知出力、ビデオロス出力、ハードディスク異常出力に選択可能)
RS-232C	1		
RS-485(PTZカメラ制御)	1(プッシュロック)		
RJ-45(LAN)	1(10BASE-T/100BASE-TX)		
USB	1(前面)	3(前面×2、後面×1)	
画面分割	1、4	1、4、6、8、9	1、4、6、8、9、13、16
画素	704(H)×480(V)(30枚/秒)、704(H)×240(V)(60枚/秒)、352(H)×240(V)(120枚/秒)		
録画フレームレート	7段階 (1,2,3,7,10,15,30枚/秒)	6段階 (1,2,3,7,15,30枚/秒)	
画質	低、標準、高、最高		
検索	時間検索、イベント検索		
日付・時刻表示	年、月、日、時、分、秒		
カメラタイトル	各チャンネル 英、数、記号最大11文字まで		
バックアップデバイス	USBデバイス(USBメモリ、DVD-RW、HDD)、内臓DVD-RW		
遠隔操作(PC)	○		
E-mail通知	○		

使用上の注意

ユーザーは、本製品の使用に先立ち、全ての注意事項を良く読み、製品を正しくお使いください。
表示された注意事項は、重大な安全上の情報を含んでいるため、全面的に順守しなければなりません。注意事項は、「危険」、「警告」、「注意」に分類されます。



危険

死亡または重傷の危険。最高優先度の危険警告です。



警告

重傷またはそれより軽度の怪我の危険。製品または財産への損傷を引き起こす恐れもあります。



注意

軽度の怪我または損傷の危険。



重要

操作に関連する要件や制限。ユーザーは、製品を適切かつ悪影響なく使用するために、関連する詳細事項を入念に読むことを推奨します。

上記の注意事項は、SHRシリーズの使用が不適切な場合に、それによって生じる損害の度合いを示しています。

使用上の注意



従わない場合、死亡または重傷につながる恐れがあります。緊急度最高。

- 電源コードは、AC100V(50/60Hz)の接地極付きコンセントのみにつないでください。他の種類の電源コンセントにつないだ場合には、火災および感電の恐れがあります。
- 本製品は、湿気の多い場所や水のかかる場所で使用しないでください。火災および感電の恐れがあります。
- 電源コードの上に重いものを置かないでください。電源コードが損傷すると、火災および感電の恐れがあります。
- 本製品の上に、液体の入った容器や小さな金属片を置かないでください。ユニット内に液体や金属片が入ると、火災および感電の恐れがあります。
- 電源コードに切れ目をつけたり、折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったり熱したりしないでください。電源コードが損傷すると、火災および感電の恐れがあります。
- 本製品の上部ケーシングを取り外さないでください。上部ケーシングを取り外すと感電の恐れがあります。内部検査やメンテナンスが必要な場合には、製品を購入した販売店に連絡してください。
- 製品に改造を行わないでください。火災および感電の恐れがあります。
- 雷が発生したら、すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。
- 製品付属の電源コードのみを御使用ください。他の電源コードを使用すると、火災および感電の恐れがあります。
- 煙や異臭または異音が発生した場合には、すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災および感電の恐れがあります。製品を購入した販売店にメンテナンスを要請してください。
- 製品を落したり損傷したりした場合には、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災および感電の恐れがあります。製品を購入した販売店にメンテナンスを要請してください。
- 濡れた手で製品に触らないでください。感電の恐れがあります。

使用上の注意



従わない場合、重傷またはそれより軽度の怪我につながる恐れがあります。製品または財産に損害を与える恐れもあります。

- 電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないでください。通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。
- 水や飲料をかけないでください。水や飲料がかかると、修理不可能な損傷が生じる恐れがあります。
- 雷が発生したら、すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。製品が損傷を受ける恐れがあります。
- 本製品およびカメラからの過電流による感電の恐れがあります。本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。



従わない場合、軽度の怪我や損傷につながる恐れがあります。

- 製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。異物の除去のために薬剤（シンナー、溶剤など）は使用しないでください。
- 以下の場所で使用または保管しないでください。
 - 温度が極端に低い、高い場所
 - 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
 - 埃っぽい場所
 - 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所
- クレジットカード、テレホンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。
- 静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品のリアパネルおよび内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。
- 本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

使用上の注意



操作上の要件と制限を示します。ユーザーは、製品を適切かつ悪影響なく使用するために、関連する詳細事項を良く読んでください。

- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、製品は適切に作動しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するよう to してください。
- 本製品は、停電に備えて設計されていますが、停電により損傷を受ける可能性もあります。その場合、使用中のデータが損傷したり、記録されなかったりすることがあります。無停電電源装置 (UPS) を使用することを推奨します。
- 本製品はビデオデータをハードディスクに録画する設計ですので、ハードディスクのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常的に録画できない場合があります。製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本製品は外部機器 (カメラ、センサー、USB 装置、LAN、ハードディスクなど) と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。



主要仕様

マウス制御

マウス操作による、簡単な操作性を実現。

分かりやすいグラフィックユーザインタフェース [GUI]

グラフィックユーザインタフェースを使用し、分かりやすいメニュー操作を実現。

三つの同時機能を実現

録画、再生、ネットワーク機能の同時使用が可能。

オーディオ

音声は、4入力1出力に対応。

バックアップ

USBフラッシュメモリ CD-R/DVD-RW HDDへのバックアップに対応
バックアップデータは専用ソフトで再生が可能。

遠隔リモート監視(クライアントソフトウェア)

PC1台で4台のDVRへの接続が可能です。
遠隔地からのライブ監視、録画データの検索、DVRの設定変更が可能。
又、遠隔地からDVRのアラーム状態の確認が可能。

録画 設定

スケジュール録画、アラーム録画、モーション録画に対応し、各録画モード別に録画速度(フレームレート)、画質、音声録画を時間単位で各CH別に設定が可能。
また、パニック録画機能によりスケジュール録画中でも高解像度、高密度の録画が可能です。
パニックモードでの録画速度、画質で録画が可能です。
(パニック録画時にはスケジュール録画、アラーム録画、モーション録画設定は無視されます。)

PTZコントローラー

RS485端子にPTZカメラを接続して、PTZの制御が可能です。

多様なモニター出力支援

コンポジットビデオ出力、VGA出力の同時出力が可能。

ライブ表示

ライブ監視画面は多様な分割パターンにて表示が可能またオートシーケンス機能により、自動的な画面切替が可能。

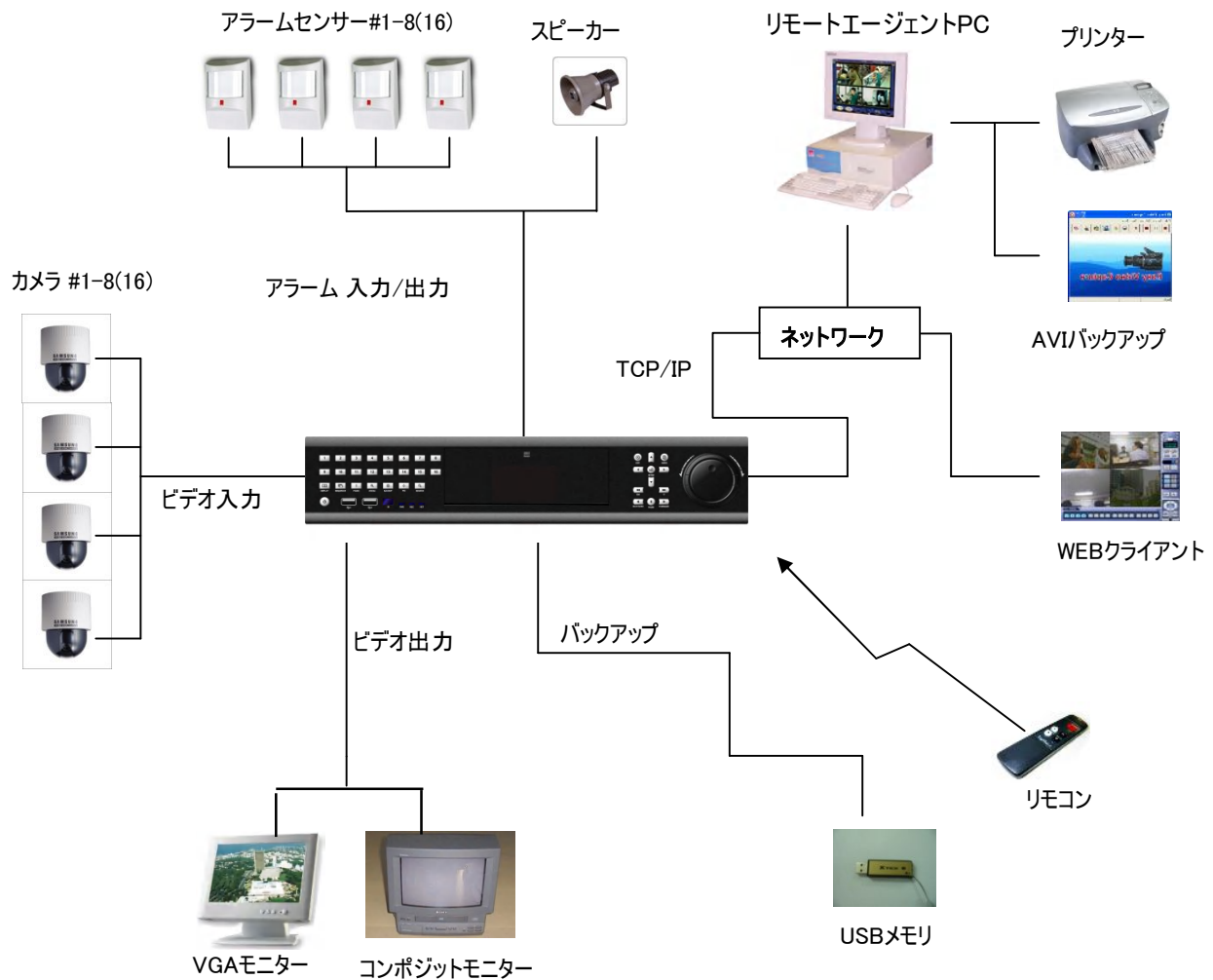
設定バックアップ

DVRの設定内容をUSBフラッシュメモリに保存し、他のDVRに設定内容を移行が可能。
この機能により、複数のDVRに同じ設定を入力する場合の負担を軽減。

Eメール機能

HDDエラーやモーションアラーム発生時に、指定したEメールアドレスへメール発送が可能。

システム構成図



システム構成品

基本構成品



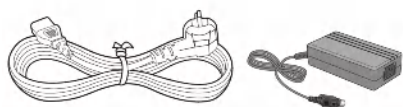
デジタルレコーダ(4CH)



デジタルレコーダ(8CH)



デジタルレコーダ(16CH)



電源ケーブル

電源アダプター



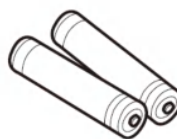
取扱説明書



リモコン



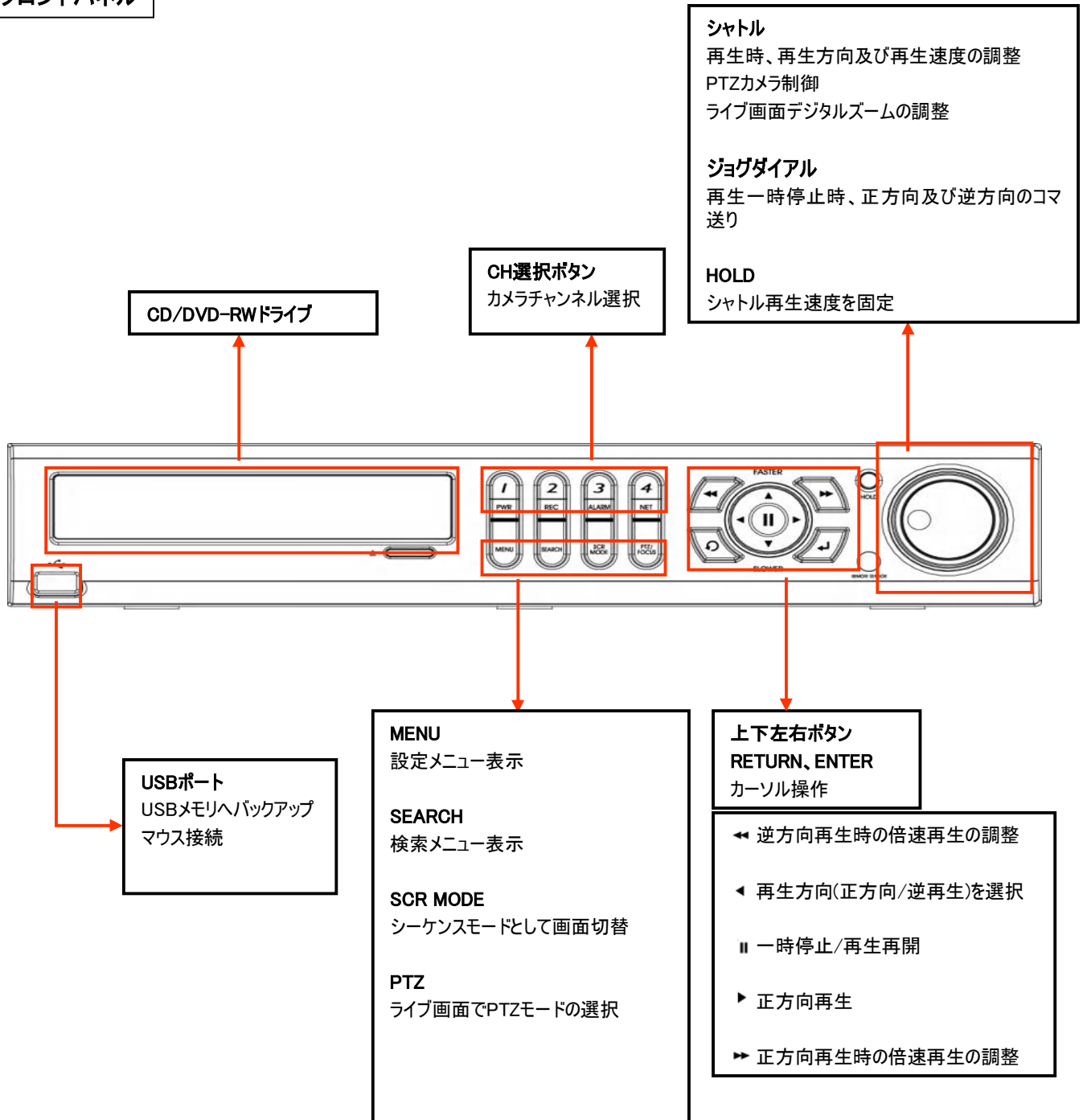
リモートエージェントソフトCD



単4電池X 2

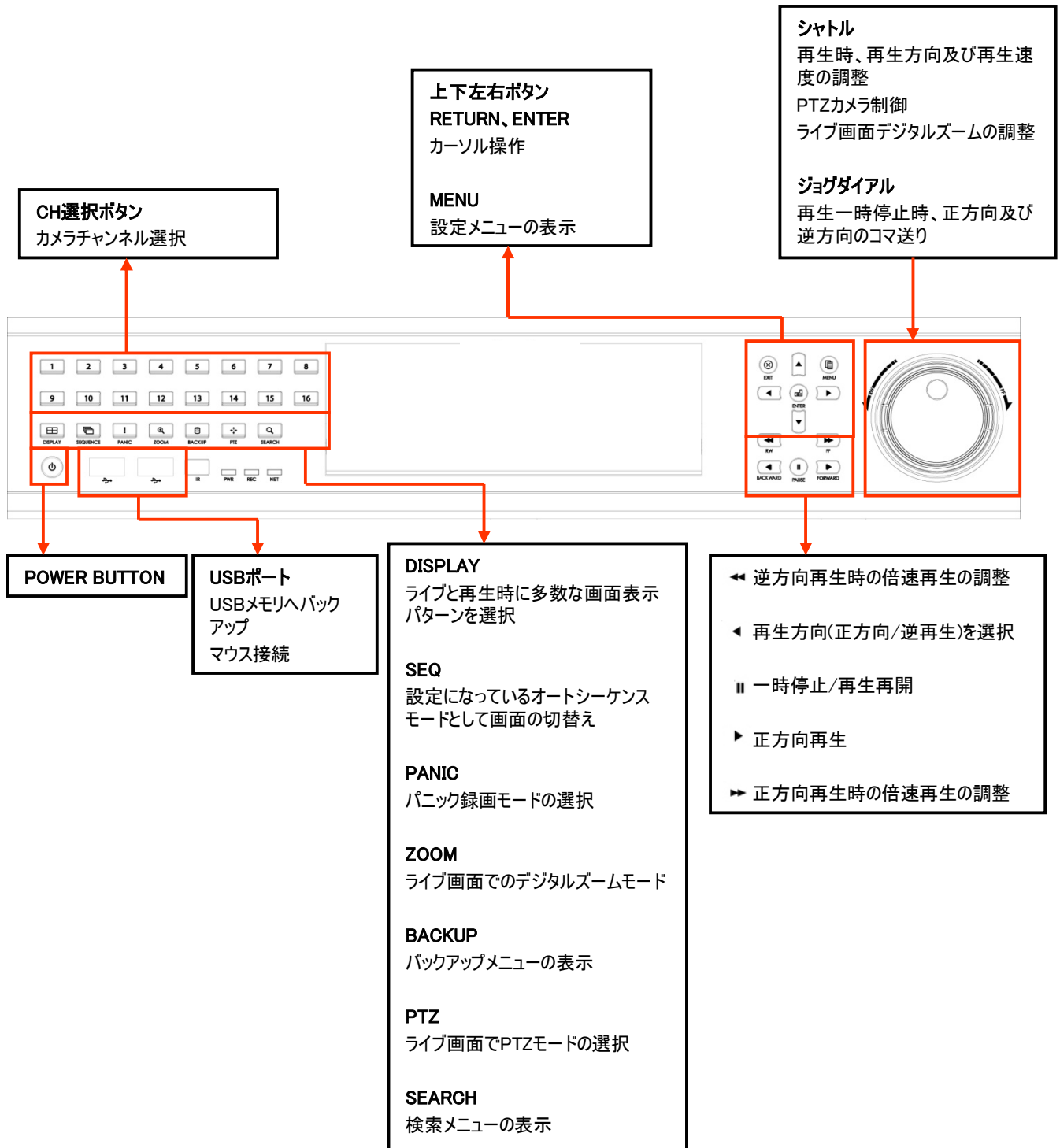
システムの説明(4CH)

フロントパネル



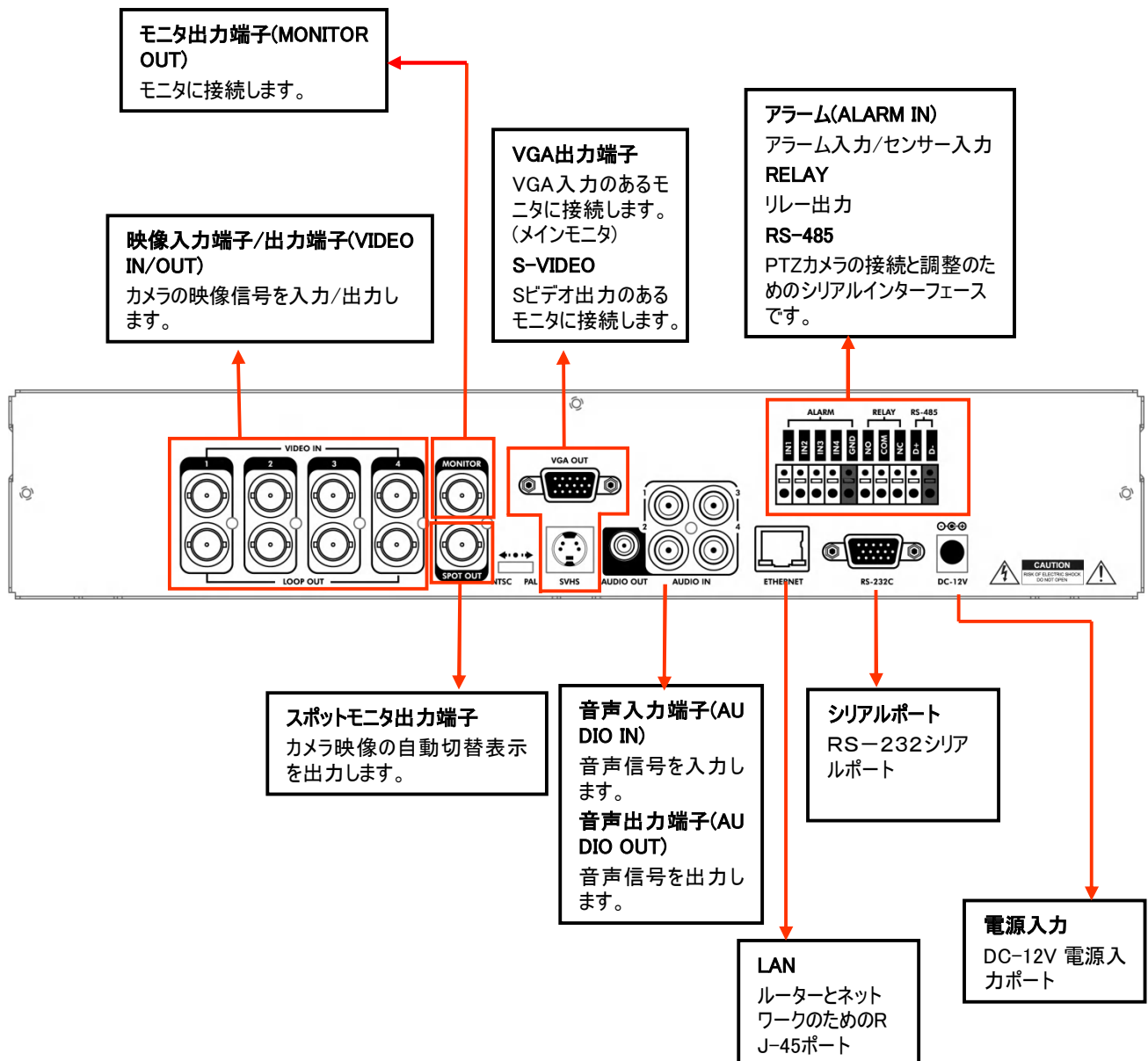
システムの説明(8CH, 16CH)

フロントパネル



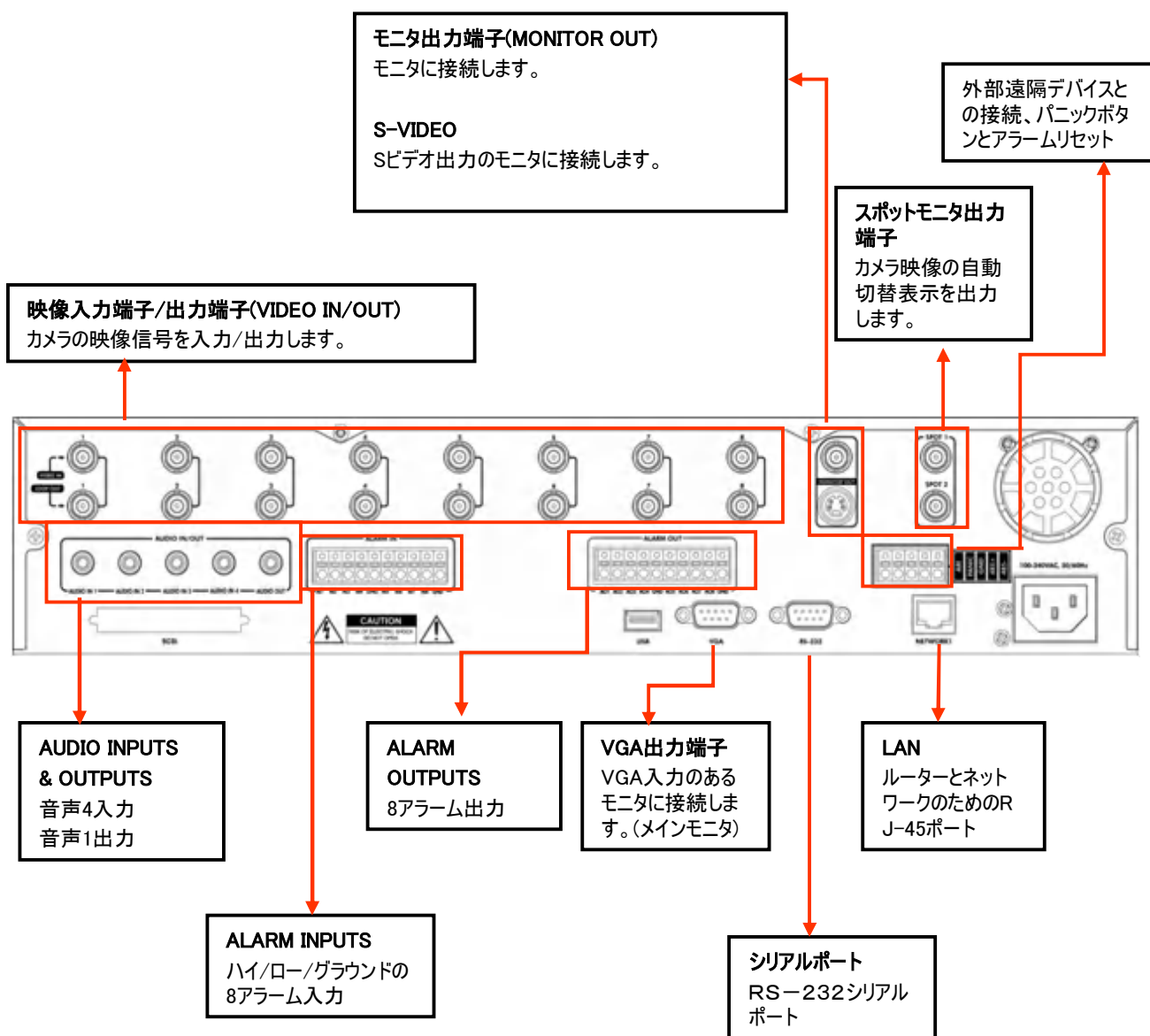
システムの説明(4CH)

リアパネル



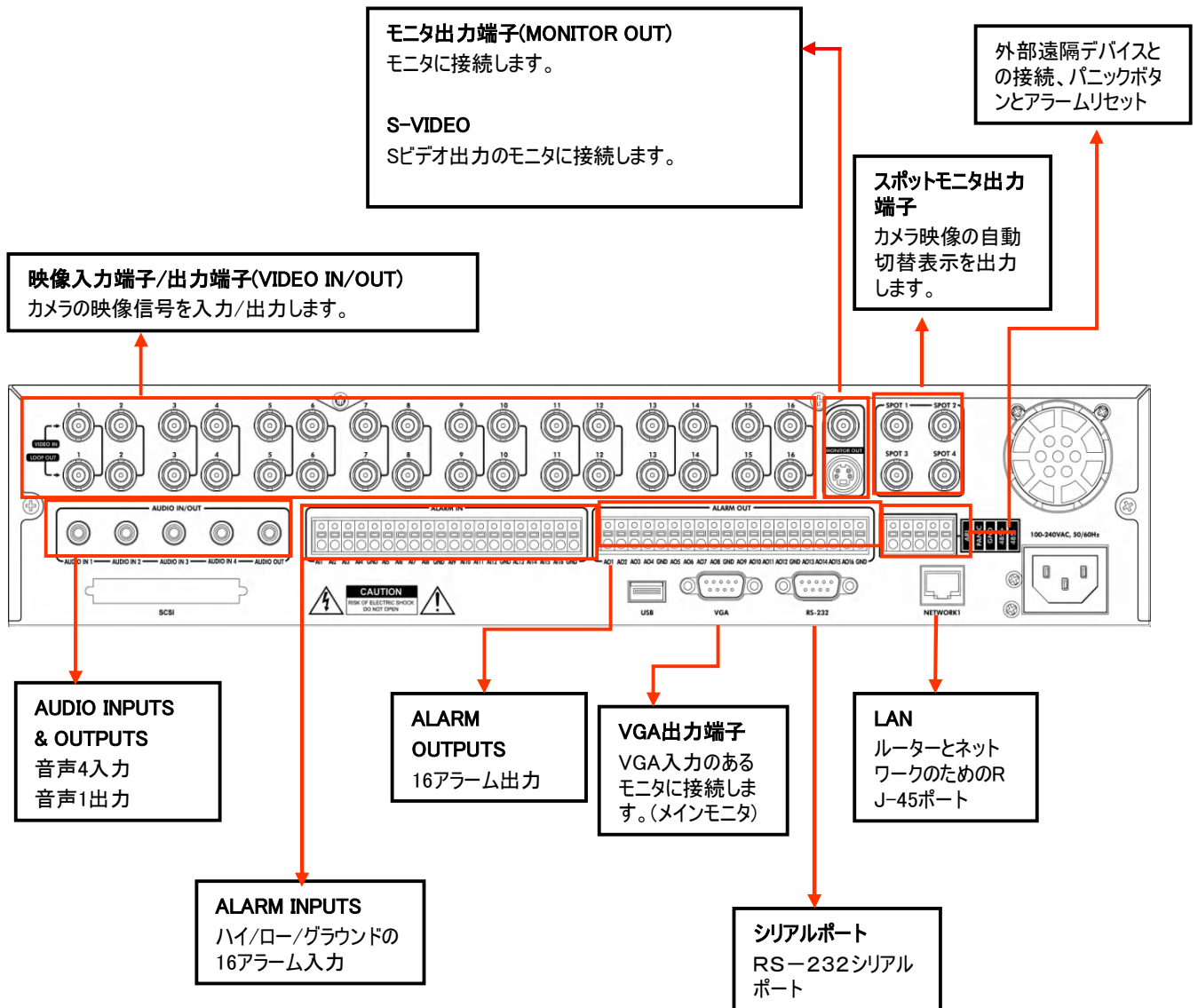
システムの説明(8CH)

リアパネル



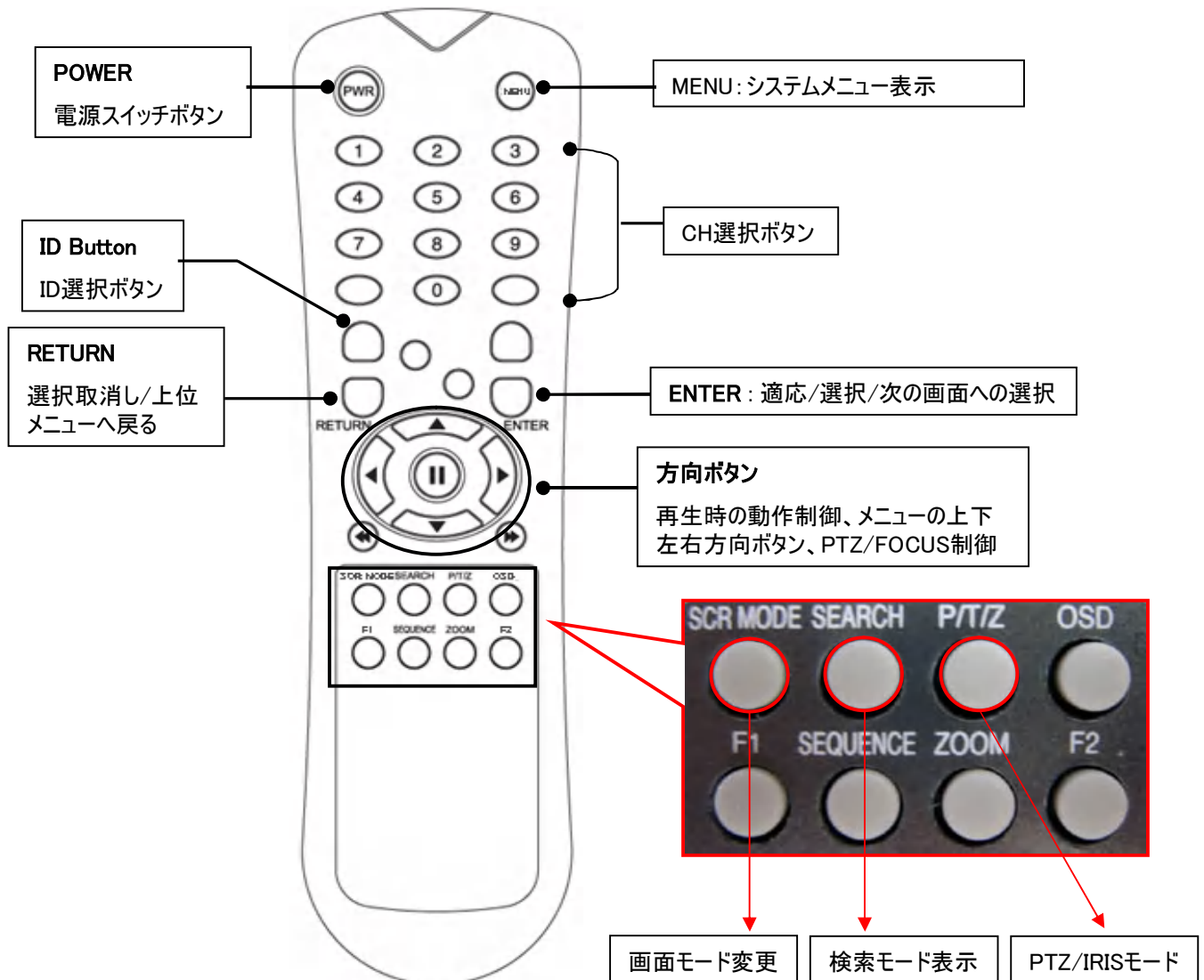
システムの説明(16CH)

リアパネル



システム説明-4CH

リモコン



*同じ場所で複数台のDVRを使用する場合、DVR IDを設定することにより1台のリモコンで全てのDVRを操作することができます。

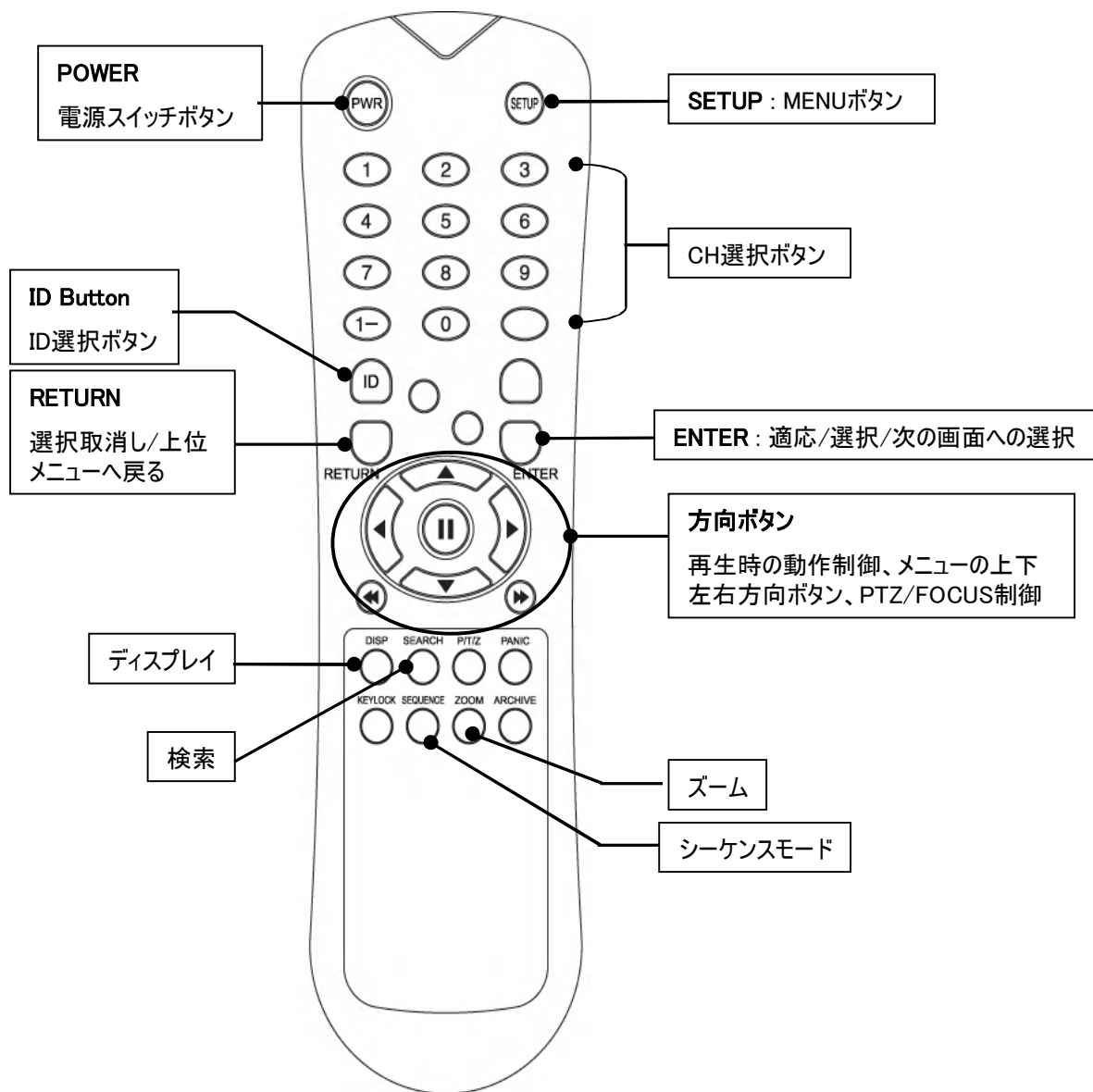
リモコンでID設定する方法。

IDボタンを押すと画面上に INPUT ID: と表示されるので、希望の番号ボタンを押します。
入力した数字が表示されるので確認し、問題なければ**RETURN**ボタンを押すことで登録の完了となります。
番号を変更する場合も同様の方法で行います。

(注意)INPUT ID表示後、番号を入力せずに**RETURN**ボタンを押しますとリモコンの操作が出来なくなります。
その際は上記の様にIDボタンを再度押し、番号を入力し、IDを登録させる必要があります。

システム説明-8CH, 16CH

リモコン



*同じ場所で複数台のDVRを使用する場合、DVR IDを設定することにより1台のリモコンで全てのDVRを操作する事ができます。

リモコンでID設定する方法。

IDボタンを押すと画面上に INPUT ID: と表示されるので、希望の番号ボタンを押します。
入力した数字が表示されるので確認し、問題なければ**RETURN**ボタンを押すことで登録の完了となります。
番号を変更する場合も同様の方法で行います。

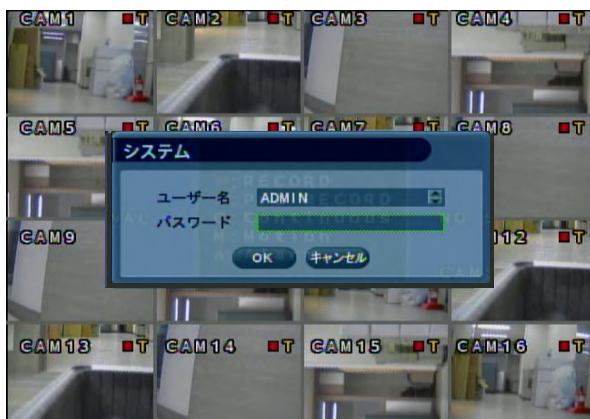
(注意)INPUT ID表示後、番号を入力せず**RETURN**ボタンを押しますとリモコンの操作が出来なくなります。
その際は上記の様にIDボタンを再度押し、番号を入力し、IDを登録させる必要があります。

接続と電源

- ・カメラを接続します。
- ・モニターはコンポジット、VGAのどちらにも接続可能です。(同時出力可)
- ・ACアダプタをAC100Vに接続するとレコーダー正面のLEDが点滅し、ピーという音が2回鳴りLEDが消えます。その後、POWERボタンを押すことでPOWER LEDが点灯し、DVRが起動します。

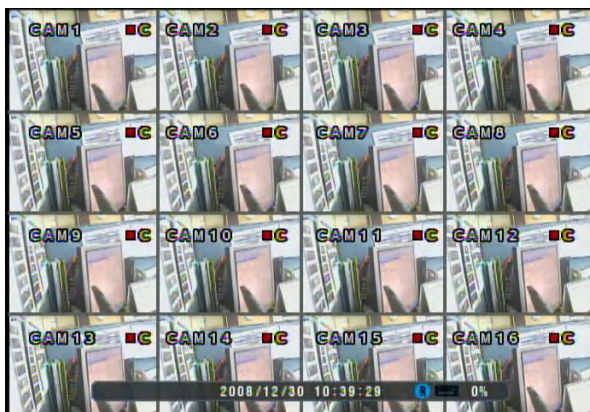


DVRは内部システムを確認しながら起動します
その際、左図の様な画面が表示されます。



起動完了後はシステムにログインが必要になります。
ユーザー名の初期IDは‘ADMIN’ (大文字)です。
パスワードの初期設定は1234です。chボタンを使用して1234を入力し**ENTER**ボタンを押します。

パスワード欄をダブルクリックするとキーボードが表示されるのでパスワード(初期値:1234)を入力し  ボタンをクリックします。

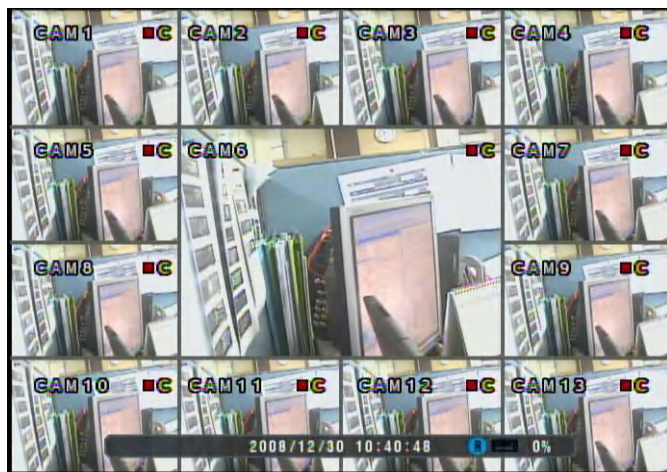


ログインが完了するとライブ画像が分割表示されます。
下段にあるバーは日付、HDD使用量などを表示します。
各分割画面にはカメラ名が表示されます。
左図の赤い四角形は録画中を意味します。
赤い四角形の横のアルファベットは以下を意味します。
C: タイマー録画
A: アラーム録画
M: モーション録画
R: リモコン動作表示

ライブ表示

画面分割

画面表示させる分割パターンの選択が出来ます。



ライブ画面表示中にマウスの右側ボタンをクリックすると下記のようなGUIが表示され、下図で**ディスプレイ**メニューを選択します。



16CHDVRでは8種類の分割パターンが選択出来ます。

使用者はディスプレイモードの選択を繰り返しながら、FULL画面/4分割/6分割/8分割/9分割/13分割/16分割/基本シーケンスモードの中から任意の分割画面を選択します。

リモコン操作の場合は[DISP]ボタンを押して変更します。

ライブ表示

ライブ画面表示の設定

カメラ位置の入れ替え



分割画面の際、どのchをどの位置に置くかを変更出来ます。

ch位置の変更を行うにはまず**ENTER**ボタンを押します。

画面下部に【ライブ画面編集モード】と表示されたら、入れ替えたいchを番号で入力します。



例) 2chと5chを入れ替えたい場合、以下の手順になります。

- 1) **ENTER**を押す 画面下部に【ライブ画面編集モード】と表示される
- 2) **2**を押す (2chがブルー画面になります)
- 3) **5**を押す (5chが2chの場所に移り、5chのあった場所がブルー画面になります)
- 4) **2**を押す (ブルーになっている場所に2chが表示されます)
- 5) **ENTER**を押す 画面下部が通常の表示(日付、時間)に戻る

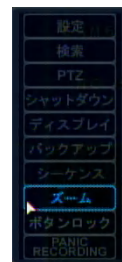
ライブ表示

デジタルズーム

(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



ライブ画面表示中にマウスを右クリックすると下図のメニューが表示されるので、ズームを選択します。



FULL画面表示の際に、最大8倍までのデジタルズームが出来ます。

ズームをしたいchを選択して**ズーム**ボタンを押すと、別の小窓に全体像と白枠が表示されます。

白枠で囲まれた部分が現在表示されている場所です。



マウス操作の場合は、下図のボタンで操作します。



ズームIN / OUT は、リモコンやフロントパネルの(▶▶) (◀◀)ボタン、またはジョグダイヤルの外側リングを回すことにより調整出来ます。

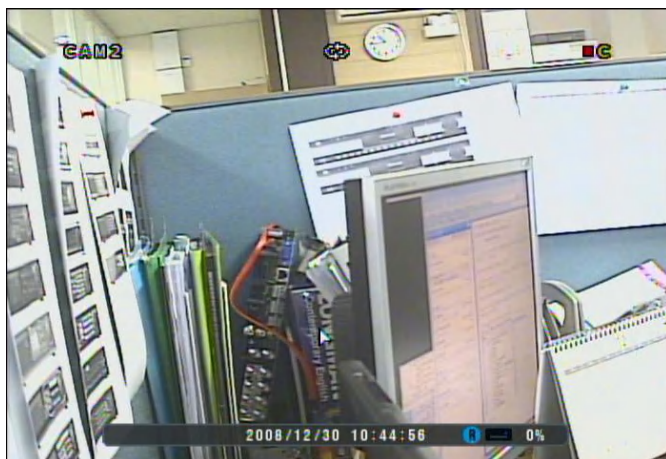
ズーム位置を移動するには上下左右ボタンを使用して白枠を移動させます。

通常のライブ画面に戻るには**RETURN**ボタンを押します。

ライブ表示

シーケンス

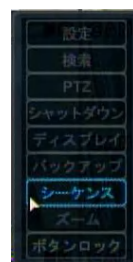
(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



監視画面を一定間隔(初期時は3秒)で切替え表示(シーケンス)できます。



ライブ画面表示中にマウスを右クリックすると下図のメニューが表示されるので、**シーケンス**を選択します。



リモコン操作の方法

[SEQUENCE]ボタンを押すと設定した間隔(初期時は3秒)で切替え表示(シーケンス)されます。

※その際、画面上部にアイコンが表示されます。

画面の切替えを止めるためには[DISP]ボタンを押して希望の表示形式に戻して下さい。

ボタンロック機能

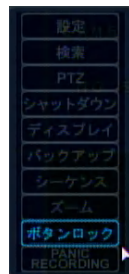
(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



部外者による不正なフロント操作の防止が出来ます。



ライブ画面表示中にマウスの右側ボタンをクリックすると下記のようなGUIが表示され、下図で**ボタンロック**メニューを選択します。



Password欄にカーソルを置き、ダブルクリックをするとキーボードが表示されます。

パスワードを入力し  ボタンをクリックします。

リモコンでの操作方法

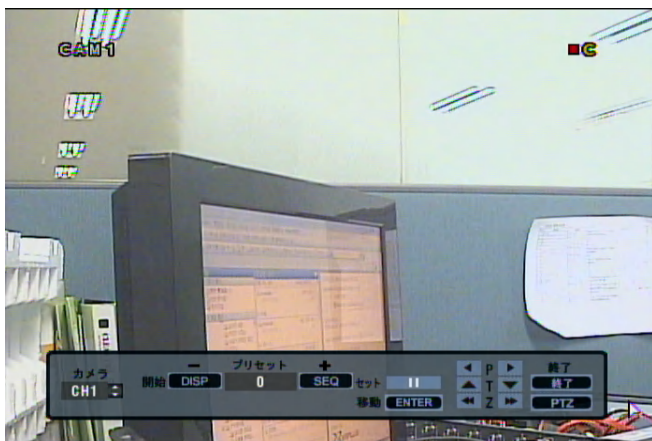
[KEYLOCK]ボタンを押してパスワードを入力、OKを押すとキーロック状態になります。

ロックを解除するためにはもう一度[KEYLOCK]ボタンを押してパスワードを入力します

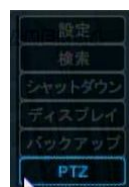
ライブ表示

PTZ制御

DVRに接続されているPTZカメラを操作します。



ライブ画面表示中にマウスを右クリックすると下図のメニューが表示されるので**PTZ**を選択します。

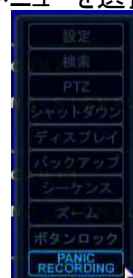


DVRに接続されているPTZカメラを操作するメニューで、フロントパネルのボタン操作で全て行えます。
まずライブ表示状態で**PTZ**ボタンを押します。次に操作したいカメラのchを選択します。
パンとチルトの動作は**上下左右ボタン**、ZOOMは**◀ & ▶**ボタンで操作を行います。

パニック録画



ライブ画面表示中にマウスの右側ボタンをクリックすると下記のようなGUIが表示され、下図で**PANIC RECORDING**メニューを選択します。

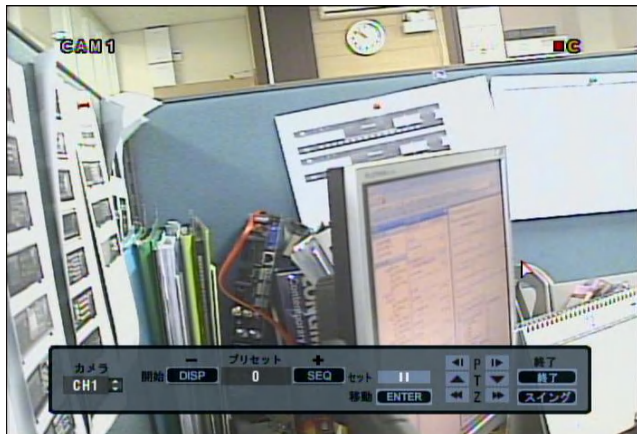


パニック録画は他の録画モードより一番優先順位が高い録画モードで、この**PANIC**ボタンを押すとパニック録画設定になった設定内容通りに録画されます。平常時には低い画像度とか少ないフレームレート、低い画質で録画していても、パニック時の録画設定を高く設定しておくことで密度の高い録画が可能になります。パニック録画を解除するためにはもう一度**PANIC**ボタンを押すとパニック録画が解除されます。

ライブ表示

プリセット設定

設定した位置にカメラが移動する機能です。



マウスを右クリックし、表示されたメニューから**PTZ**をクリックします。



リモコン操作の場合、まず【PTZ】ボタンを押します。

上図が表示されたら次ページの説明にしたがって設定してください。

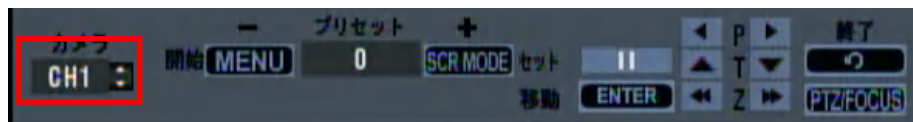
ライブ表示

プリセット設定方法 :4CH

プリセット設定手順 1.

:プリセット設定するPTZカメラを選択します。

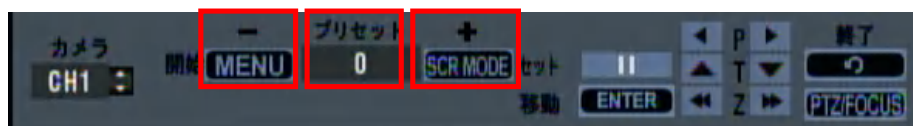
※必ずPTZカメラが接続されているchを選択してください。



プリセット設定手順 2.

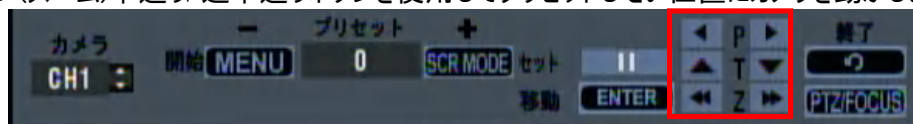
:プリセット番号を設定します。“－(DISPLAY)”と“＋(SEQUENCE)”を使用してプリセット番号をつけます。

マウスで操作しない場合はフロントパネルのDISPLAYボタンが“－”に動作(番号の減少)し、フロントパネルのSEQUENCEボタンが“＋”に動作(番号の増加)します。



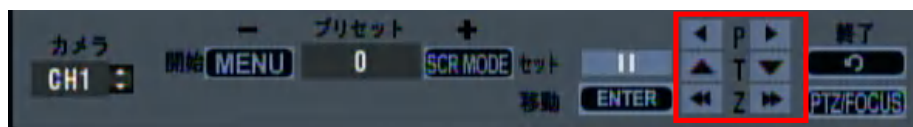
プリセット設定手順 3.

:プリセット番号の設定が終わったら、“P”(パン)を左右矢印ボタン“T”(チルト)を上下矢印ボタン“Z”(ズーム)早送り/逆早送りボタンを使用してプリセットしたい位置にカメラを動かします。



プリセット設定手順 4.

:プリセットしたい位置にカメラを移動させたら“セット”(一時停止)ボタンを押すと指定した位置でプリセット設定されます。以降同じ方法でプリセットしたい位置を番号をつけて設定していきます。

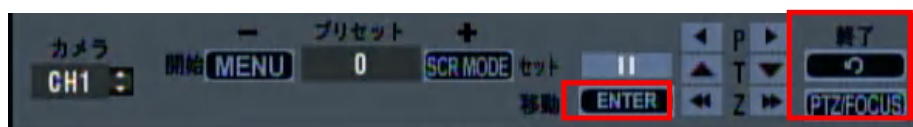


プリセット設定手順 5.

:実際にプリセットを動作させるには、移動したいプリセット番号を“－”と“＋”ボタンを使用して選択し、“操業(ENTER)”ボタンを押すと設定したプリセット位置にカメラが移動します。

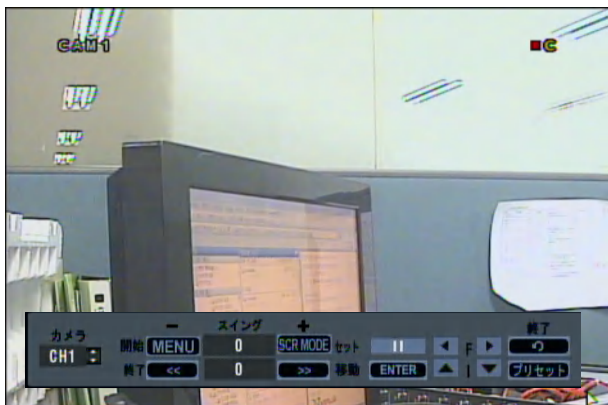
プリセットメニューからライブ画面に戻るには“RETURN”ボタンを押します。

“SWING”設定モードに入るには“SWING”ボタンを押します。

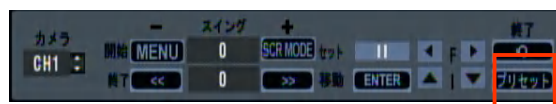


ライブ表示

スイングとフォーカス、アイリスの設定: 4CH



スイングメニューをクリックします。



スイング設定はPTZカメラが設定した地点の間を巡回する機能を設定するのです。

スイングというのは2箇所の地点(A地点とB地点)を設定してA地点とB地点を巡回します。

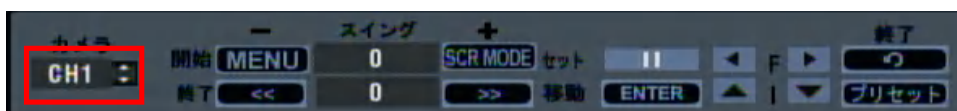
※ この機能を使用するには、御使用のPTZカメラに【スイング】制御のプロトコルが搭載されている必要があります。

スイング設定方法 : 4CH

スイング設定手順 1.

: スイング設定するPTZカメラを選択します。

※必ずPTZ機能に対応したカメラを選択してください。



スイング設定手順 2.

: スイングを開始するA地点を設定します。

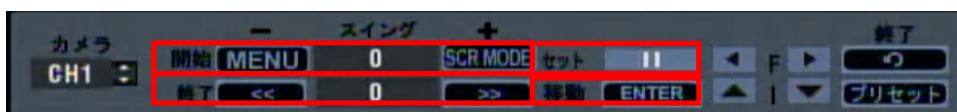
設定方法は“DISPLAY”と“SEQUENCE”を利用してSWINGを開始するA地点に移動し“セット”ボタンを押すとSWINGを開始するA地点が設定されます。

: 次にスイングを終了するB地点を設定します。

“ARCHIVE”と“SEARCH”を利用してSWINGを終了するB地点に移動し“セット”ボタンを押すとSWINGを終了するB地点が設定されます。

“ENTER”ボタンを押すとスイングが動作します。

DISPLAY/SEQUENCE/ARCHIVE/SEARCH/ENTERの各ボタンはマウス操作ではなく、フロントパネルまたはリモコンを使用して操作する時のフロントパネルのボタン名です。



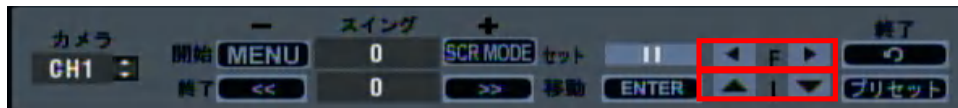
ライブ表示

フォーカスとアイリス調整方法: 4CH

フォーカスとアイリスの設定方法

:フォーカスを調整するには“F”ボタンを使用して調整します。

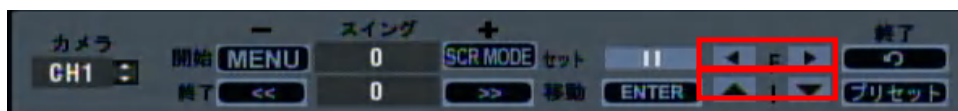
アイリスを調整するには“I”ボタンを使用して調整します。



その他

:ライブモードに戻るには“終了”ボタンを押します。

プリセットモードに戻るには“プリセット”ボタンを押します。



※ この機能を使用するには、御使用のPTZカメラに【フォーカス】および【アイリス】制御の
プロトコルが搭載されている必要があります。

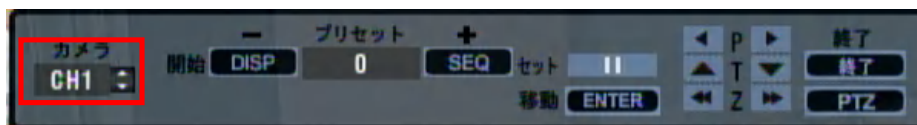
ライブ表示

プリセット設定方法 : 8CH, 16CH

プリセット設定手順 1.

: プリセット設定するPTZカメラを選択します。

※必ずPTZカメラが接続されているchを選択してください。



プリセット設定手順 2.

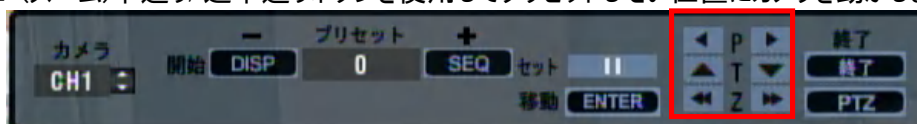
: プリセット番号を設定します。“- (DISPLAY)”と“+ (SEQUENCE)”を使用してプリセット番号をつけます。

マウスで操作しない場合はフロントパネルのDISPLAYボタンが“-”に動作(番号の減少)し、フロントパネルのSEQUENCEボタンが“+”に動作(番号の増加)します。



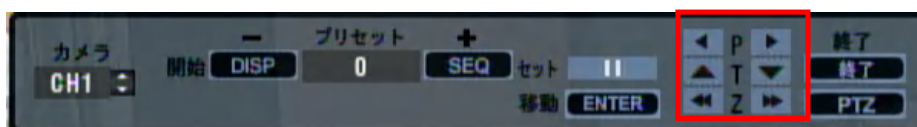
プリセット設定手順 3.

: プリセット番号の設定が終わったら、“P”(パン)を左右矢印ボタン“T”(チルト)を上下矢印ボタン“Z”(ズーム)早送り/逆早送りボタンを使用してプリセットしたい位置にカメラを動かします。



プリセット設定手順 4.

: プリセットしたい位置にカメラを移動させたら“セット”(一時停止)ボタンを押すと指定した位置でプリセット設定されます。以降同じ方法でプリセットしたい位置を番号をつけて設定していきます。

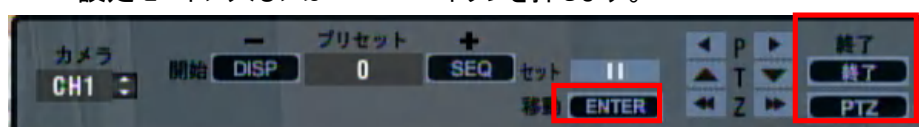


プリセット設定手順 5.

: 実際にプリセットを動作させるには、移動したいプリセット番号を“-”と“+”ボタンを使用して選択し、“操業(ENTER)”ボタンを押すと設定したプリセット位置にカメラが移動します。

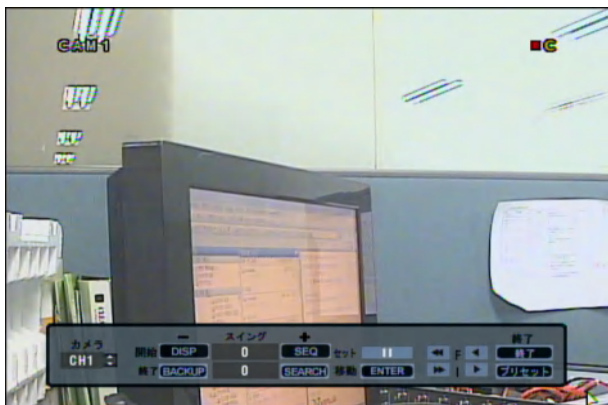
プリセットメニューからライブ画面に戻るには“RETURN”ボタンを押します。

“SWING”設定モードに入るには“SWING”ボタンを押します。

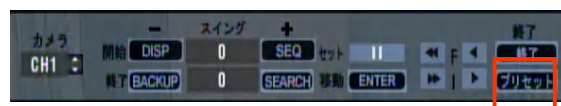


ライブ表示

スイングとフォーカス、アイリスの設定: 8CH, 16CH



スイングメニューをクリックします。



スイング設定はPTZカメラが設定した地点の間を巡回する機能を設定するのです。

スイングというのは2箇所の地点(A地点とB地点)を設定してA地点とB地点を巡回します。

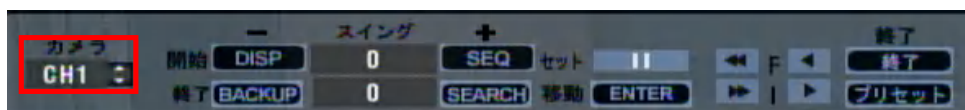
※ この機能を使用するには、御使用のPTZカメラに【スイング】制御のプロトコルが搭載されている必要があります。

スイング設定方法 : 8CH, 16CH

スイング設定手順 1.

: スイング設定するPTZカメラを選択します。

※必ずPTZ機能に対応したカメラを選択してください。



スイング設定手順 2.

: スイングを開始するA地点を設定します。

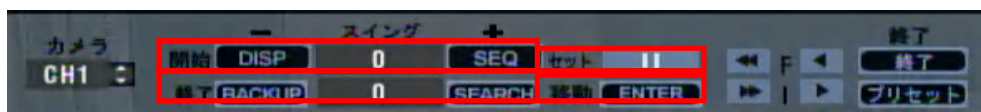
設定方法は“DISPLAY”と“SEQUENCE”を利用してSWINGを開始するA地点に移動し“セット”ボタンを押すとSWINGを開始するA地点が設定されます。

: 次にスイングを終了するB地点を設定します。

“BACKUP”と“SEARCH”を利用してSWINGを終了するB地点に移動し“セット”ボタンを押すとSWINGを終了するB地点が設定されます。

“ENTER”ボタンを押すとスイングが動作します。

DISPLAY/SEQUENCE/BACKUP/SEARCH/ENTERの各ボタンはマウス操作ではなく、フロントパネルまたはリモコンを使用して操作する時のフロントパネルのボタン名です。



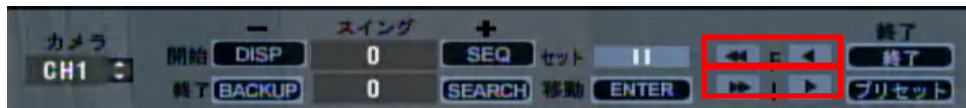
ライブ表示

フォーカスとアイリス調整方法: 8CH, 16CH

フォーカスとアイリスの設定方法

:フォーカスを調整するには“F”ボタンを使用して調整します。

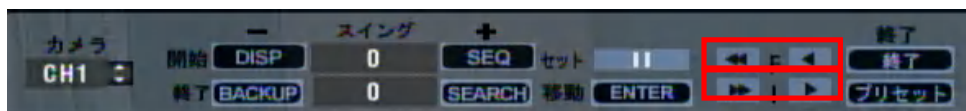
アイリスを調整するには“I”ボタンを使用して調整します。



その他

:ライブモードに戻るには“終了”ボタンを押します。

プリセットモードに戻るには“プリセット”ボタンを押します。



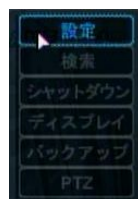
※ この機能を使用するには、御使用のPTZカメラに【フォーカス】および【アイリス】制御の
プロトコルが搭載されている必要があります。

システム設定

ディスプレイ



ライブ画面でマウスの右ボタンをクリック
下図のようなメニューが表示されるので、
設定を選択します。



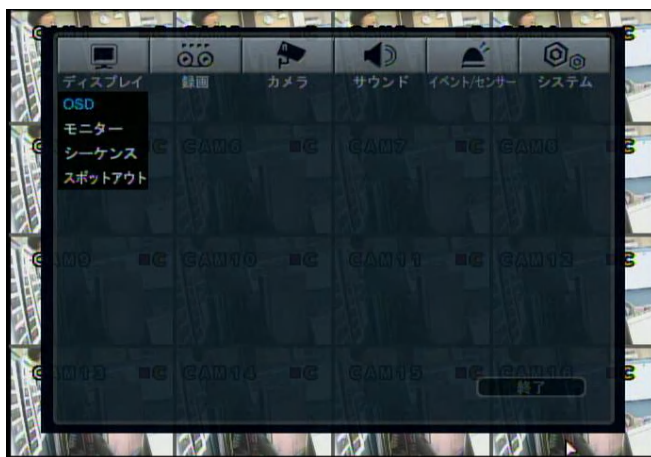
パスワード欄にカーソルを置きダブルクリックするとキーボードが表示されるので、パスワードを入力し  ボタンをクリックします。

リモコンで操作を行う場合には、主に**上下左右**ボタン、**ENTER**ボタン、**RETURN**ボタンを使用します。

上下左右ボタンは主に【項目の移動】【値の変更】に

ENTERボタンは主に【選択】【決定】に使用します。

RETURNボタンは主に変更の取り消しや上位メニューへ戻る際に使います。



システム設定をクリックします。

リモコンで操作を行う場合は、まず**MENU**ボタンを押します。

パスワード入力後(初期パスワードは‘1234’です。) **ENTER**ボタンを押します。

ここで【システム設定】を選択し **ENTER**ボタンを押します。

※この設定はADMINユーザだけ行うことができます。

システム設定

ディスプレイ:OSD

画面表示に関しての設定を行うメニューです。**ENTER**ボタンを押すと各項目が選択になります。



変更する箇所をクリックして  オン/オフボタンを使用して設定します。

状態バー :ライブ画面の下に表示されるDVR状態バー表示のオン/オフを設定します。

カメラタイトル :カメラ名表示のオン/オフを設定します。

イベントアイコン :各chの上段に表示される録画状態について、アイコン表示のオン/オフを設定します。

ボーダー/枠 :画面分割の際に枠を表示するかどうかを設定します。

ボーダーカラー/枠カラー :画面分割時の枠の色を設定します。

OSD透明度 :メニュー設定時のメニュー画面の透明度を設定します。

モーションセンサーディスプレイ :モーション検知になった時、検知になった状態をブロックの色で表示させて、使用者がそれ
を検知が出来るように、表示させるかどうかを設定します。

OFF - モーションが検知になったことを表示しません。

ACTIVE - モーションが検知になった領域をブロックで表示します。

INACTIVE - モーションが検知になっていない領域をブロックで表示します。

モーションセンサー色 :“モーションセンサーディスプレイ”の設定によって、表示されるブロックの色を設定します。

モーションセンサー透明度 :“モーションセンサーディスプレイ”によって表示されるブロックの透明度を設定します。

上記の設定を変更するためには、OSDをハイライトさせます。ハイライトになった状態で**ENTER**ボタンを押すと選択になり、**RETURN**ボタンは取り消しになります。

リモコンで上記の設定を変更するためには、まず**ENTER**ボタンを押します。変更可能部分が緑枠でハイライトされます。

ハイライトになった状態で**ENTER**ボタンを押すとオレンジ枠となり設定変更が可能となりますので、上下ボタンで選択を行います。**RETURN**ボタンを押すと取り消しになります。

別項目へ移動する場合は緑枠の状態で上下ボタンを押し操作を行います。

(前へ)のボタンは設定作業時に、作業前の状態に戻す場合に使用します。

注意 : 設定後、必ず”保存して終了”をクリックしてください。押さずに戻ると設定内容が全て無効になります。
設定した内容を保存せずに戻すには“前に”をクリックします。
ただし、一度“保存して終了”を押してから“前に”をクリックした場合、設定内容は保存されています

システム設定

ディスプレイ:モニター



モニターをクリックし、設定したい下位メニュー項目をクリックします。次に  ボタンを使用して設定します。

シーケンス切替時間 : 画面のシーケンス時間、間隔を設定します。

スポットアウト時間 : スポットモニターに各chが切替えて表示される時間、間隔を設定します。

デインターレースモード : D1(704x576)にて録画したデータの再生時に、画面の動きが早い場合再生画面が揺れる現象が発生する事がありますが、この設定をオンにすると自動的にその現象を補正します。(この設定はオンにすることを推奨します。)

アラームポップアップモード : オンにするとアラーム入力になったchをFULL画面で表示します。

アラームポップアップ時間 : 上記の“アラームポップアップモード”をオンにした場合のFULL画面表示する時間を設定します。

モーションポップアップモード : オンにするとモーション検知になった際、検知された画面をFULL画面表示します。

モーションポップアップ時間 : 上記の“モーションポップアップモード”をオンに設定した場合のFULL画面表示する時間を設定します。

リモコンで上記の設定を変更するためには、まず**ENTER**ボタンを押します。

変更可能部分が青枠でハイライトされます。別項目へ移動するには青枠の状態です上下ボタンを押します。

青枠になった状態で**ENTER**ボタンを押すと、オレンジ枠になり設定変更が可能となりますので、上下ボタンで変更を行います。

変更後もう一度**ENTER**ボタンを押すと変更が決定され、**RETURN**ボタンを押すと取り消しになります。

最後に【保存して終了】へ移動して**ENTER**ボタンを押すと変更内容が確定します。

システム設定

ディスプレイ:シーケンス

(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



画像の自動切換えについて設定します。



シーケンスをクリックします。

SEQUENCEボタンを押した際の切替パターンの初期設定は、各chをFULL画面で切替えるパターンになっています。ここではシーケンス設定で表示したいパターン(分割画面)の設定が出来ます。

シーケンス パターンの追加

(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



追加メニューをクリックします。

表示させたいシーケンスパターンを追加するためには追加をハイライトさせて、**ENTER**ボタンを押します。

シーケンスタイトルがハイライトになった状態で、**ENTER**ボタンを押すとキーボードが表示されます。このキーボードでシーケンス名を入力します。

システム設定

ディスプレイ:シーケンス

(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



シーケンスタイトル欄をダブルクリックするとキーボードが表示されます。

キーボードでシーケンス名を入力し  ボタンを押します。

キーボードの移動は**上下左右**ボタンを使用し、文字の選択は**ENTER**ボタンをクリックします。

入力した文字の取消しは‘←’をクリック、

大文字と記号を入力するには‘↑’をクリックして文字パレットを切り替えます。

入力が完了したら**ENTER**ボタンをクリックすると、入力文字が確定しキーボードが消えます。



左図のオフと書いてある部分をクリックをします。

 ボタンをクリックしてオン/オフを選択します。

動作をオンにして保存で**ENTER**を押して、組合せしたシーケンスをセーブします。

システム設定

ディスプレイ:シーケンス

(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



左上段にあるBOXの上でダブルクリックします。そうするとBOXはオレンジ色に変わります。

クリックする毎に分割パターンが変わります。

左上に小窓が表示されたら、**ENTER**を押してカーソルをオレンジ色にします。

次に**上下左右**ボタンを使用して画面のタイプを選択します。

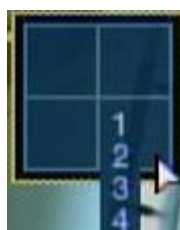
パターンの選択とカメラの割り当て

(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



chを割り振りしたい小窓の上で右クリックします。

その小窓で表示したいカメラ番号を選択します。



シーケンス表示させたい画面のタイプが決まったら、各分割画面に表示させるchを選択します。

chの選択は数字ボタンを押します。押すと左上から順に自動で割り振られていきます。

全部うまったらENTERボタンを押すと、次の設定の為の小窓が現れるので同様の手順で設定します。

※ご注意：各chは1度だけの選択になります。同じ選択はできません。
選択したchを削除するためには、もう一度そのchボタンを押します。

システム設定

ディスプレイ:シーケンス

(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)

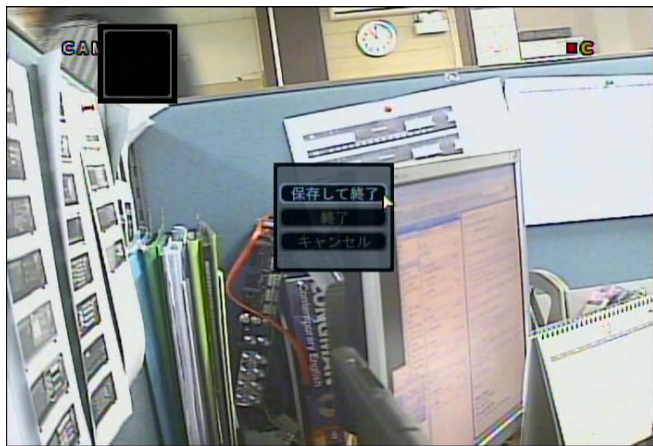


左クリックすると次の分割パターンが表示されるので、同じ方法で分割パターンとカメラchを選択します。

同様の手順でパターンを追加していきます。

パターンの設定完了と保存

(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



設定を終了するには、マウスを右クリックし、表示されるメニューから【保存して終了】を選択します。

リモコン操作の場合

全chの設定が終了したら、**RETURN**ボタンを押して、表示されるメニューから【保存して終了】を選択し**ENTER**ボタンを押し、**RETURN**ボタンで戻ります。

全部で16個までのシーケンス表示を、パターン毎に設定出来ます。

システム設定

ディスプレイ:シーケンス

(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



作成したパターン名の動作欄にチェックを入れて
リスト名をダブルクリックして動作をオンにして【保存して
終了】ボタンをクリックします。

これでライブ画面表示時に**シーケンス**を実行する
と、選択したシーケンスパターンで動作します。

ここまで戻ると新しく追加したシーケンスパターンが保存されます。

ライブ画面表示時に**シーケンス**ボタンを押すと新しいシーケンスパターンで画面が切り替わります。

ディスプレイ:スポットアウト

(4CH用DVRでは使用することが出来ません。)



スポットモニターに出力するchの選択



スポットアウトをクリックします。

スポットモニターに表示させたいchにチェックをつけて
【保存して終了】ボタンをクリックします。

本機には通常のモニター出力とは別に**スポットモニター出力**があります。

スポットモニター出力は指定のchをFULL画面で切替え表示します。(切替え表示しかしません)

リモコンの上下左右ボタンを使いスポットモニター表示させたいchへ移動し、ENTERボタンを押してチェックマークを付けます。最後に【保存して終了】を選択してから**RETURN**ボタンで上位メニューに抜けます。

これでチェックしたchのみスポットモニター出力で切り替え表示されます。

システム設定

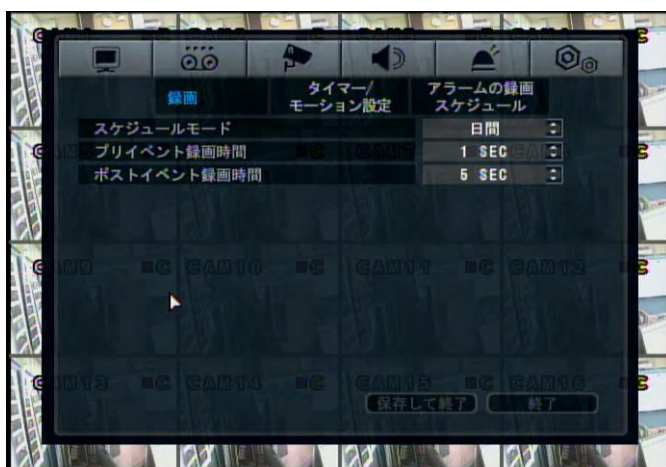
録画メニュー



録画メニューをクリックします。

DVRの録画動作を設定します。カーソルを録画メニューに置いて**ENTER**ボタンを押します。

録画



録画をクリックして、変更したい各項目をクリックします。



ボタンをクリックして値を変更します。

スケジュールモード:

日間 (1日単位にスケジュールを設定)と週間(週単位にスケジュールを設定)のどちらかを選択します。

タイマー/モーション設定に1日単位の設定をするのか、曜日設定をするのかメニューが表示されます。

ブライベント録画時間:

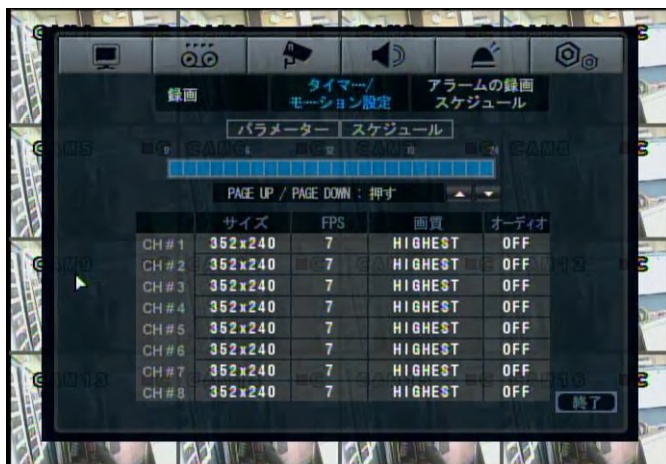
イベント(モーション、アラーム等)が発生する以前に遡って録画を行うモードで、5秒前まで設定が出来ます。

ポストイベント録画時間:

イベント(モーション、アラーム等)が発生してから続けて録画するモードで、180秒前まで設定が出来ます。

システム設定

タイマー/モーション設定



タイマー/モーション設定をクリックします。

この画面の設定はスケジュール設定とモーション設定に従います。

2種類の設定タップがあります。:

パラメーター : 一日単位や週刊単位(一日単位をするか週間単位にするかは録画設定によって自動表示になります)

に各chの録画設定が出来ます。

スケジュール : この設定はDVRが録画になる時間と連続録画をするかモーション録画をするかを決めます。

パラメーター



パラメーターメニューをクリックします。

パラメーター設定をするためには、カーソルをタイマー/モーション設定に置いて**ENTER**ボタンを押します。

すると、パラメーターの文字が青色に変わります。それから、もう一度**ENTER**ボタンを押します。

そうすると、24時間のタイムバーの枠が紫色に変わり、カーソルが置かれます。

システム設定

パラメーター



使用者が設定したい時間帯をドラッグします。

カーソル(青色)を有効化するために**ENTER**ボタンを押します。
青色のカーソルは1時間単位に表示されます。

時間バーの下に表示されるテーブルの設定はその時間単位に設定されている設定値です。



使用者が設定したい時間帯をドラッグします。

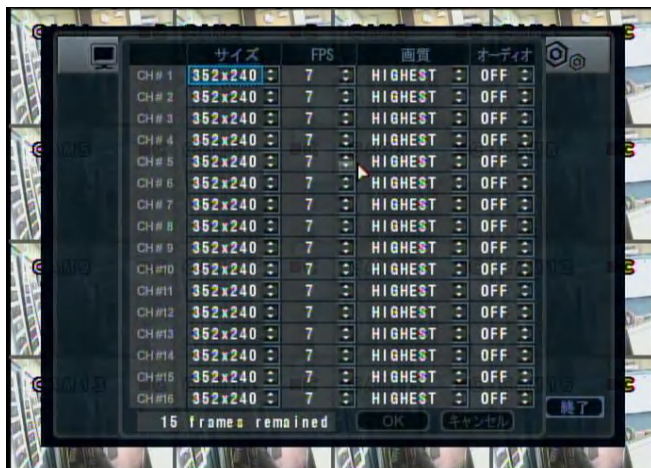
例: 7時と16時の設定を変更する時

7時に青カーソルを置いて**ENTER**ボタンを押します。するとカーソルは黄色に変わります。

それから左右ボタンを利用してカーソルを16時まで移動させると、黄色の枠が7時から16時まで表示になります。続いて、**ENTER**を押すとその時間単位に設定する詳細設定テーブルが表示になります。そのテーブル値を設定したら、録画設定になります。

システム設定

パラメーター



サイズ, FPS, 画質, オーディオ値をクリックします。
設定値は  ボタンをクリックして変更します。

前のPageに説明した通りに時間帯を設定して**ENTER**ボタンを押すと録画設定テーブルが表示になります。

サイズ : ch(カメラ)毎に録画するときの解像サイズを設定します。

352 X 240, 704 X 240, 704 X 480の三つの中で設定が出来ます。

FPS : ch(カメラ)毎に録画するときの録画速度(録画枚数)を設定します。

4CH: 1/2/3/7/10/15/30FPS、8CH,16CH: 1/2/3/7/15/30FPS

画質 : ch(カメラ)毎に録画するときの画質を設定します。

LOW、STANDARD、HIGH、HIGHESTの4段階の種類があります。

オーディオ : ch(カメラ)毎に録画するときの音声chを設定します。

OFF/CH1/CH2/CH3/CH4の中で一つを選択します。

システム設定

スケジュール



スケジュールメニューをクリックします。

スケジュール設定を変更するためには、カーソルをタイマー/モーション設定のスケジュールにカーソルを置いて**ENTER**ボタンを押すとパラメーターかスケジュールを選択できるようになるので、上下左右ボタンを利用してスケジュールにカーソルを置いて**ENTER**ボタンを押すとスケジュールボックスは紫色に変わります。



時間とchをクリックします。

青色のカーソルを表示するために、**ENTER**ボタンを押します。

例：全てのchを16:00～24:00までのモーション検知録画を設定する時。

上下左右ボタンを利用して青色のカーソルを16:00に置いて**ENTER**ボタンを押します。

そうすると、カーソルは設定開始位置を表示する黄色に変わります。

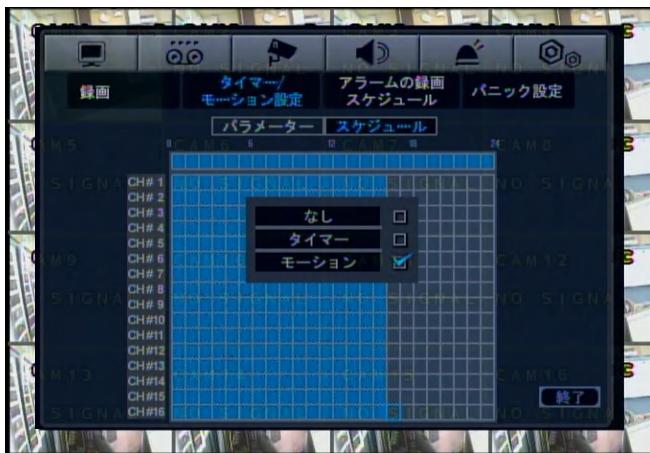
システム設定

スケジュール



時間とchをマウスの左ボタンを使用してドラッグします。

上下左右ボタンを使用して16:00～24:00まで領域を設定します。



ドラッグしてからモーションをクリックします。

ENTERボタンを押すと【なし、タイマー、モーション】を選択しチェックする窓が表示されます。上下ボタンを使用して“モーション”に移動させて、**ENTER**ボタンでチェックを入れます。以上で16:00～24:00までのモーション検知録画の設定が終了になります。

システム設定

スケジュール



上図は0:00～16:00のタイマー録画、16:00～24:00のモーション検知録画に設定した場合のバーの状態です。

各設定値は下記の三種類があります。

なし：録画をしません。

タイマー録画：連続で録画をします。

モーション検知録画：動きを検知した場合に録画します。

システム設定

アラーム録画のスケジュール



アラーム録画のスケジュールメニューをクリックします。
設定方法は連続映像/動体の録画スケジュールと同一です。

この設定画面はアラーム入力があった時の録画設定です。

パラメーター: 一日単位や週間単位(一日単位をするか週間単位にするかは録画設定によって自動表示になります)に各chの録画設定が出来ます。

スケジュール: この設定はDVRがアラーム入力をモニタリングするかどうかの設定と、アラーム入力時の録画可否を決めます。

検知によるアラーム録画は、連続映像/動体の録画スケジュール録画の録画設定より優先されます。
例えば、連続映像/動体の録画スケジュールが、少ないフレームレートでの録画設定になっていても、アラーム録画の設定が高いフレームレートに設定してあれば、その高いフレームレートで録画されます。

パニック設定



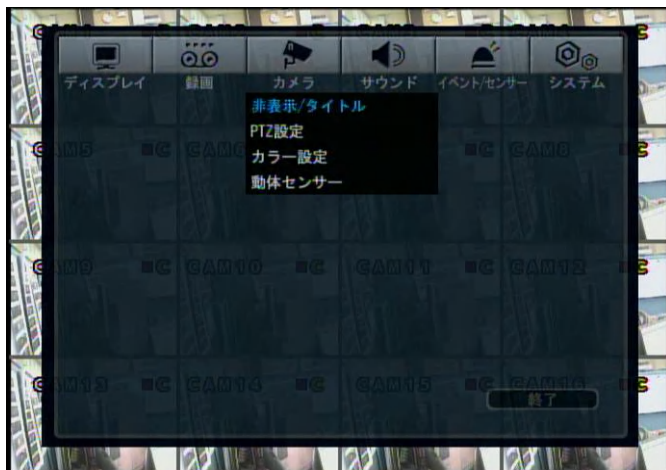
パニック設定をクリックします。

サイズ, FPS, 画質, オーディオ値をクリックします。
設定値は  ボタンをクリックして変更します。

フロントの**PANIC**ボタンを押したとき、録画設定をします。

システム設定

カメラ



カメラをクリックします。

リモコンで操作を行う場合、上下ボタンでカメラを選択し**ENTER**ボタンを押し下位項目に移動します。

カメラ:カメラタイトル



カメラタイトルをクリックします。

画面非表示項目の、オン/オフをクリックします。次に  ボタンを押してオン/オフを選択します

タイトルメニューの上でCAM Noをクリックしカメラ名の変更が出来ます。

非表示: オンに設定するとカメラの映像が非表示になります。 ※ 録画は行われています。

タイトル: 各カメラ名の入力出来ます。(英数字11字まで)

リモコンで上記の設定を変更するためには、まず**ENTER**ボタンを押します。

変更可能部分が青枠でハイライトされます。

ハイライトになった状態で**ENTER**ボタンを押すと黄枠となり設定変更が可能となりますので、

上下ボタンで選択を行います。**RETURN**ボタンを押すと取り消しになります。

別項目へ移動する場合は青枠の状態です上下ボタンを押し操作を行います。

システム設定

カメラ:PTZ設定



PTZ設定メニューをクリックします。アドレス、プロトコルとボーレートメニューの上で各値をクリックします。



ボタンで値を設定します。

アドレス: PTZカメラのIDを設定します。

プロトコル: PTZカメラのプロトコル(カメラモデル名)を選択します。

ボーレート: PTZカメラのボーレート(速度)を選択します。



ボタンをクリックします。ボタンで詳しく設定値の変更が出来ます。



アイコンを選択するとPTZ特徴のメニューが表示されます。このメニューで、接続されているPTZカメラの機能の設定が出来ます。

このメニューはPTZカメラの各項目プロトコルが入っているモデルに限って適用にされます。例えば、オートフォーカスやオートアイリスなどのプロトコルがDVRに追加になってないPTZカメラはこの機器の適用外になります。

システム設定

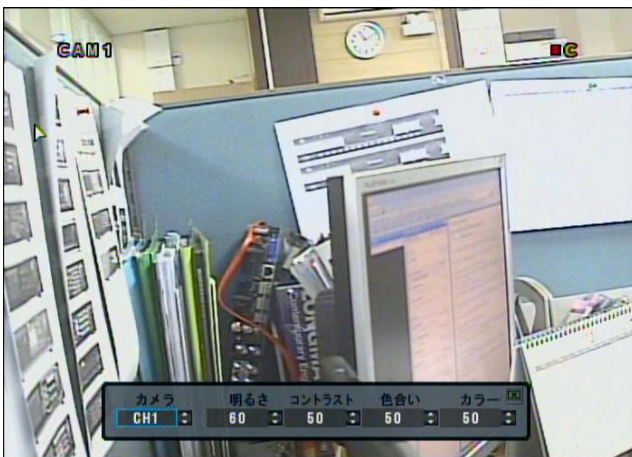
カメラ : カラー設定



カラー設定をクリックします。

次に、明暗、コントラスト、色合い、カラー、の各項目上で値をクリックします。

各CH別に明暗、コントラスト、色合い、カラーの調整が出来ます。
調整したいchの項目をハイライトさせ**ENTER**ボタンを押します。



左図が表示されるので、調整したい項目の
 ボタンを使用して値を変更します。

選択されたchはFULL画面で表示されます。
明暗、コントラスト、色合い、カラーは使用者が調整出来ます。
調整が終わったら**RETURN**ボタンを押します。

システム設定

カメラ : 動体センサー



動体センサーをクリックし、変更したいカメラの感度の値を1度クリックします。

 ボタンで設定値の変更をします。

感度: モーション反応の感度を設定します。

1が一番感度が低く、10が一番感度が高いレベルです。



範囲設定ボタンをクリックします。

モーションの範囲設定: モーション録画で検知する領域を設定する項目です。

四角形のマス目単位での設定になります。

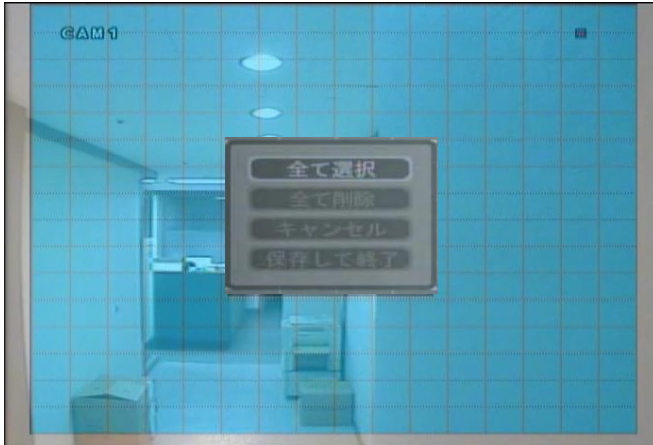
四角形の数12(横)×12(縦)です。

モーション設定になっていない部分: 灰色

モーション設定になっている部分 : 水色
で表示されます。

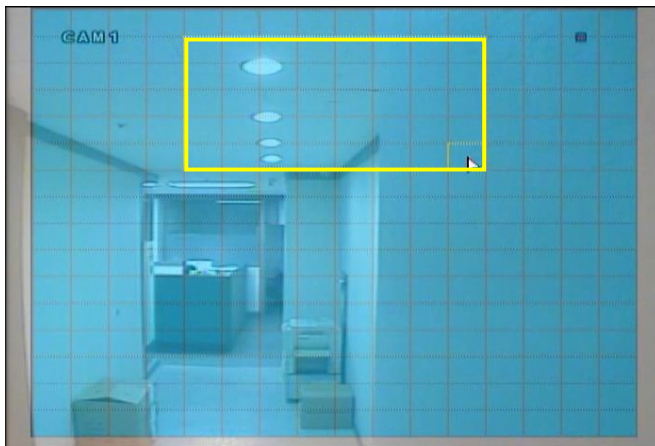


カメラ:動体センサー



マウスを右クリックしてメニューを出し、全ての領域を設定する場合、**全て選択**、どの領域も選択しない場合は**全て解除**、を選択します。

もう一度マウスを右クリックしてメニューを出し、**保存して終了**を選択すると設定が確定し、前のメニューに戻ります



マウスで領域を設定する場合は左ボタンをクリックし、ドラッグしながら範囲の選択をします。

もう一度実行すると選択解除になります

マウスを右クリックしてメニューを出し、**保存して終了**を選択すると設定が確定し、前のメニューに戻ります。

リモコンで領域を選択する場合、選択開始場所で一度**ENTER**ボタンを押し、**上下左右**ボタンで範囲の指定を行い、もう一度**ENTER**ボタンを押し確定します。

※選択された領域でもう一度操作上記を行うと、選択解除になります。



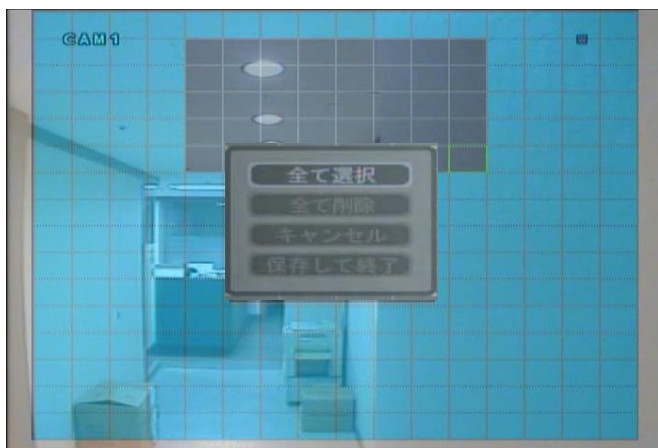
システム設定

カメラ: 動体センサー



ENTERボタンを押すと選択した領域が、選択されます。

上記の手順を繰り返して領域設定を行います。



設定した領域を保存するには**RETURN**ボタンを押し、表示された左図のメニューから

“**保存して終了**”を選択、**ENTER**ボタンを押して確定します。

ご注意

モーション録画スケジュールはPage41に記述になった録画に設定しなければなりません。

システム設定

サウンド

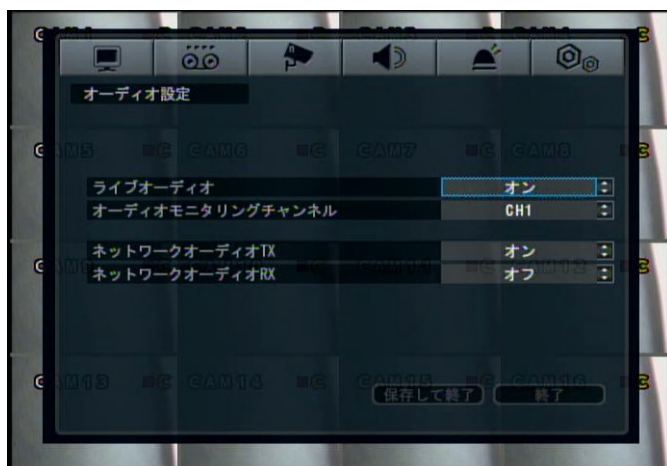
ここでは音声に関する設定を行います



サウンドをクリックします。

音声を設定するには、サウンドにカーソルを置いて**ENTER**ボタンを押し以下の画面を表示させます。

サウンド:オーディオ



オーディオをクリックし、次に各項目の値をクリックします。
 ボタンを使用して設定の変更を行います。

ライブオーディオ :ライブ音声の設定です。オンにすると出力し、オフにすると出力しません。

オーディオモニタリングチャンネル :ライブオーディオをオンにした際、どのchをオンするか設定します。

ネットワークオーディオTX :オンにするとライブと再生時の音声データがPCクライアントに伝送されます。

ネットワークオーディオRX :オンにするとクライアントソフトからの音声をDVRに接続しているスピーカに出力します。

システム設定

サウンド: 操作音



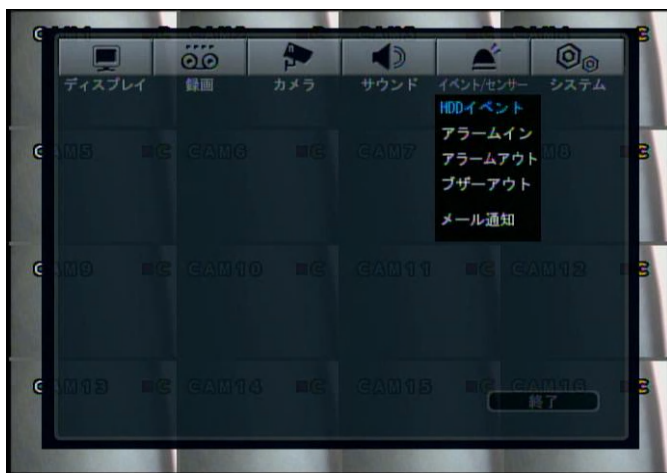
操作音をクリックして、各項目のオン/オフをクリックします。

 ボタンをクリックして値を変更します。

KEYPAD: オンにするとフロントボタンを押す度にピープ音が出ます。

REMOCON: オンにするとリモコンを押す度にピープ音が出ます。

イベント/センサー



イベント/センサーをクリックします。

多様なイベントに対してイベント出力等を設定します。カーソルをイベント/センサーに置いて**ENTER**を押します。

システム設定

イベント/センサー:HDDイベント



HDDイベントをクリックし、次に設定したい項目をクリックします。

設定値は  ボタンをクリックして変更します。

本機はHDDを定期的にチェックし、問題を検知した場合にアラームを鳴らす事が出来ます。

SMARTアラーム: オンにするとスマートディスクモニタリングを使用します。

チェック間隔 : HDDをチェックする時間の間隔を設定します。

イベント/センサー: アラーム入力



アラームインをクリックします。次に変更したい項目の値をクリックします。

 ボタンをクリックして変更します。

4アラーム入力のタイプと動作の設定をします。

動作: アラーム入力の可否を選択します。

タイプ: アラーム入力タイプを選択します。(N/O、N/C)

システム設定

イベント/センサー：アラームアウト



アラームアウトをクリックします。
次に変更したい項目の値をクリックします。
 ボタンをクリックして値を変更します。

4 アラームアウトのトリガーの動作を設定するメニューです。

動作設定

チャンネル: アラーム出力chの選択です。

動作: 選択されたアラーム出力の可能/不可を設定します。

モード: [トランスペアレント] はトリガー発生中、継続的にアラーム出力します。

[ラッチ] はトリガー発生中、設定した時間だけアラーム出力させます。

持続時間: ラッチモードで、ラッチする(アラーム出力させる)時間を設定します。

タイプ: アラームのタイプを N/O (アラームが動作する時、0Vから+5V)と

N/C (アラームが動作する時、+5Vから0V)の中で一つを選択します。

HDDイベント: HDDにアラームイベントが発生したとき、アラーム出力をするかどうかを設定します。

アラーム: トリガー発生した際に、アラーム出力するかどうかを設定します。

ビデオロス(VIDEO LOSS): ビデオロスになった時、アラーム出力するかどうかを設定します。

モーション: モーション検知になった時、アラーム出力するかどうかを設定します。

システム設定

イベント/センサー：ブザーアウト



ブザーアウトをクリックします。
次に変更したい各項目をクリックします。
 ボタンをクリックして変更します。

トリガーが発生した際の、内部ブザー動作を設定するメニューです。

動作設定

動作：内部ブザーを使用するかどうかの設定です。

モード：[トランスペアレント] はトリガー回復後すぐにブザーが停止します。

[ラッチ] はトリガー回復後、設定した時間後にブザーが停止します。

持続時間：ラッチモードで、ラッチする(ブザー出力させる)時間を設定します。

HDDイベント：HDDにアラームイベントが発生したとき、ブザー出力をするかどうかを設定します。

アラーム：トリガー発生した際に、ブザー出力するかどうかを設定します。

ビデオロス(VIDEO LOSS)：ビデオロスになった際、ブザー出力するかを設定します。

モーション：モーション検知になった時、ブザー出力するかを設定します。

(注意)

ビデオロスの場合、ビデオロスにチェックが入っている時には常に継続的にブザーを鳴らします。但し、ビデオロスが回復後に停止します。

システム設定

イベント/センサー：Eメール通知



Eメール通知をクリックして、設定したい各項目をクリックします。

必要に応じてチェックボックスをチェックします。

遠隔地使用者にEmailを送信する動作を設定するメニューです。

通知：オンにするとイベント発生時にEmailを送信します。

HDDイベント：オンにするとHDDイベントの状況をメールで送信します。

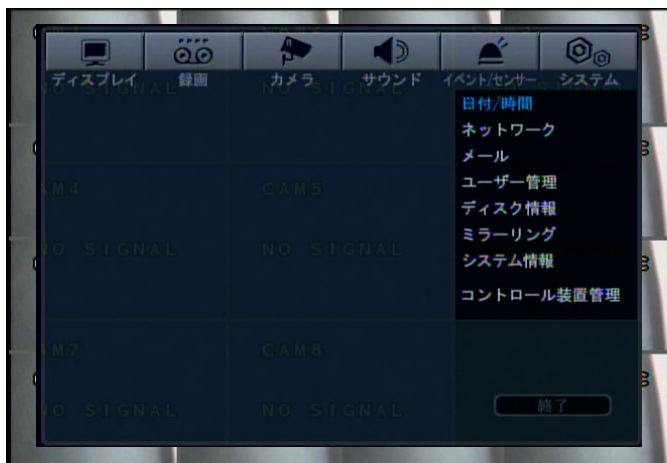
アラーム：各chに対して、アラーム入力時にメールを送信するかどうかを設定します。

ビデオロス：各chに対して、ビデオロスが発生した時にメールを送信するかどうかを設定します。

モーション：各chに対して、モーション検知になった時にメールを送信するかどうかを設定します。

システム設定

システム



システムをクリックします。

システム: 日付/時間



日付/時間をクリックして、変更したい項目の値をクリックします。

 ボタンを使用して値を変更します。

日付/時間: 現在の時間を設定します。

日付フォーマット: 日付表示形式を選択します。

時間フォーマット: 時刻形式を選択します。

ネットワークタイムサーバー: DVRをインターネットに接続している場合、ENTERボタンを押すと時刻がネットワークタイムサーバーと同期されます。

タイムゾーン: DVRが使用される地域の時間帯を設定します。

初期設定値はTokyoになっています。変更しないでください。時刻ずれの原因となります。

D.S.T.: サマータイムの設定です。初期設定値はOFFになっています。

変更しないでください。時刻ずれの原因となります。

システム設定

システム: ネットワーク



ネットワークをクリックして変更したい項目の値をクリックします。



ボタンをクリックして変更します。

DHCP: 設定するとIPアドレスの自動割り当てに対応します。(状況によりルーター側の設定が必要)

DDNS: 設定するとダイナミックDNSサーバーに対応します。

ウェブサーバー: この設定をするとウェブブラウザを通してDVRに接続が出来ます。

IPアドレス: 固定IPを使用する際に、IPアドレスを入力します。

ゲートウェイ: 固定IPを使用する際に、ゲートウェイを入力します。

サブネットマスク: 固定IPを使用する際に、サブネットマスクを入力します。

プライマリDNSサーバー: DHCPを使用しない場合、第1DNSサーバーの設定が出来ます。

セカンダリDNSサーバー: DHCPを使用しない場合、第2DNSサーバーの設定が出来ます。

DDNSサーバー: DDNSを使用する場合は、この欄にDDNSサーバー名を入力します。

クライアントサーバーポート: クライアントソフトを使い遠隔地接続をする際に使用するポートを入力します。

ウェブサーバーポート: ウェブブラウザから遠隔地接続をする際に使用するポートを入力します。

MAX TX SPEED: 隔地から接続をしている際にDVRで使用出来る帯域幅を設定します。

システム設定

システム:メール



メールをクリックして、変更したい各項目の値をクリックします。



ボタンをクリックして変更します。

サーバー:SMTPサーバのアドレスを記述します。メール送信の際に使われます。

ポート:メール用ポートナンバー。

認証:メールサーバーがユーザー名とパスワードを要求しない場合この設定をOFFにしてください。

ユーザー:メールでDVRを認定するにはユーザー名をご入力下さい。

パスワード:“認証”がONに設定されている場合この欄にパスワードをご入力下さい。

テスト送信:テストメールを送信します。

※ご注意:メール機能を動作させるには使用者を正確に入力しなければなりません。ユーザー名にスペースを含めることは出来ません。

システム:ユーザー管理



ユーザー管理をクリックし、グループの**ADMIN**をクリックします。

初期ユーザはADMINのみになっています。ADMINはADMINグループ所属になっています。

パスワードは1234です。

ADMINユーザーのパスワード変更や、内容の追加入力が出来ます。

ADMINユーザの内容を追加するためには、緑枠をADMINに置いて**ENTER**ボタンを押します。

システム設定

システム: ユーザー管理



パスワード変更

パスワード欄をダブルクリックするとキーボードが表示されます。

キーボードからパスワードを入力して、 ボタンを押します。

ユーザー : ユーザー名。

パスワード: キーボードを使用して使用するパスワードを変更します。

※ご注意 : 既に入力されているパスワードを削除するには ◀ を使用します。

グループ : ADMIN、MANAGER、USERの中から選択します。(操作可能な機能が変わります)

メール : メール送信機能を使用する場合には、送り先のメールアドレスを入力します。

メール通知: ユーザーにメールを送信するか設定が出来ます。

※ご注意: セキュリティのためにADMINユーザーパスワードは出来る限り変更することを推奨します。

システム設定

システム: ユーザー管理



ユーザーの追加

追加をクリックします。次にユーザーIDとパスワードをダブルクリックして入力します。

ユーザーIDとパスワードを入力した後、**↓** ボタンをクリックします

ユーザーを追加するためには追加にカーソルを置いて、**ENTER**ボタンを押します。

追加するユーザーの詳しい事項の設定が可能です。

ユーザー管理に関して

7名のユーザーまで作成でき、各々のユーザーは三つのユーザーグループに所属します。

ユーザー : ライブの監視に関する設定だけ出来ます。再生と設定は出来ません。

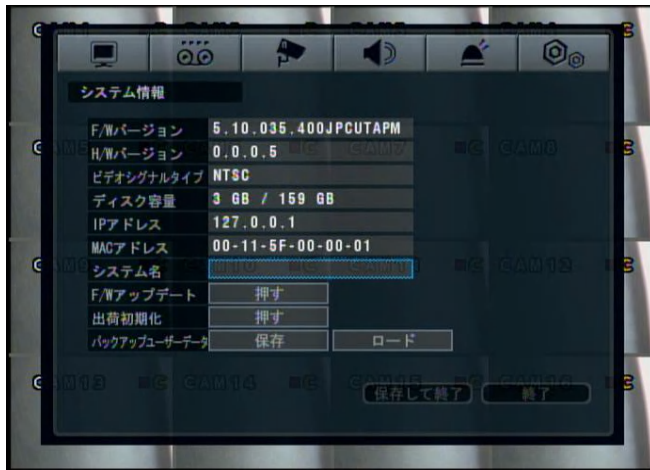
MANAGER : ライブ監視の設定と録画したデータの再生のみ可能です。

ADMIN : 全ての機能に対しての操作が可能です。

※ご注意 : ADMINユーザーを除いて、どのユーザーも削除が可能です。

システム設定

システム: システム情報



システム情報をクリックします。

機器の情報表示欄、FWアップデート、設定の初期化、設定内容の保存とロードがあります。

F/Wバージョン: DVRのファームウェアバージョンを表示します。

H/Wバージョン: DVRのハードウェアバージョンを表示します。

ビデオシグナルタイプ: 現在NTSCなのかPALなのかを表示します。NTSC/PALの自動認識が可能。

自動認識は最初にカメラを接続して電源をONした際の信号を元に判断します。

ディスク容量: 最初に表示されている数字はHDD使用量、次に表示されている数字は装着されているHDDの総容量を表示します。

IPアドレス: 現在設定している固定IP、またはDHCP機能により割当てされたIPアドレスを表示します。

MACアドレス: DVRのMACアドレスを表示します。

システム名: システム名は10文字まで入力出来ます。メール通知する際に使用されます。

F/Wアップデート: 新しいファームウェアに、アップグレードをする際に使用します。

アップグレードはUSBメモリスティックを使用して行います。

出荷初期化: 工場出荷時の設定値に戻す際に、使用します。

バックアップユーザーデータ: システムの設定内容をUSBメモリにバックアップする際に使用します。

複数台に同じ設定を行う場合に、他のDVRにそのままアップロードが出来ます。

システム設定

システム:コントロール装置管理



コントロール装置管理をクリックします。
次にシステムID、プロトコル、ボーレートを選択します。

設定によって、キーボードコントローラーを使用して254台までのDVRの制御が出来ます。

システムID: 2台以上のDVRがRS485バスを通して繋がっている際、各DVRに独自のIDを付与して制御が可能です。

注意

DVRが2台以上使用される際に、キーボードコントローラーを使用してDVRを制御するには必ず独自のIDの設定が必要です。

プロトコル: コントローラーのプロトコルを設定します。(DVRで選択可能なプロトコルに限ります)

ボーレート: コントローラーのボーレートをマッチングする必要があります。

システム設定

ディスク管理



ディスク管理をクリックします。

下位メニューの録画時間制限、上書き、フォーマットの各項目をクリックして設定します。

内蔵HDDを管理するための設定です。カーソルをディスク管理に置いて**ENTER**ボタンを押します。

録画時間制限:一定期間の録画データを保存する必要がある場合はこの設定をオンにします。

この設定をオンにしてデータ保存期間を設定すると、設定した期間のデータ保存が出来ます。

保存する期間は現在時点を基準に12時間、1日、2日、3日、1週間、1ヶ月になります。

上書き:オンにするとHDDが一杯になった際に過去が一番古いデータを消去しながら録画を行います。

オフにするとHDDが一杯になった時点で録画中止になります。

※ 上書きオンにするとHDD容量表示は99%と表示されます。

フォーマット:開始するとHDDに録画されているデータをフォーマットします。

※ご注意

- ① 設定を完了すると、設定した保存期間を過ぎているデータは再生できなくなります。
設定を行う前に必要なデータはバックアップしてください。
- ② 録画時間制限をONにしている時には上書きはONに出来ません。

検索

検索



ライブ画面上でマウスの右ボタンをクリックすると、下図のメニューが表示されるので、**検索**をクリックします。



パスワード欄をダブルクリックするとキーボードが表示されるので、パスワードを入力して

 ボタンをクリックします。

リモコン操作の場合、録画されているデータを検索するには、まず**SEARCH**ボタンを押します。

ログイン画面が表示されるのでパスワードを入力してログインします。(初期設定は1234)

※検索操作が出来る使用者レベルはADMINとMANAGERに限られます。

時間検索



検索したい日付をクリックし、
下のタイムラインから時間を選択します

カレンダーとタイムラインを使用して、素早い検索が出来ます。

カレンダーには現在の日付が表示されます。

カレンダー上で緑色に表示されている日が録画データのある日です。

録画データのある日は、選択すると録画されている時間帯が下部に青色で表示されます。

SHR-404Aでは日を選択して**ENTER**ボタンを押し、左右キーで時間を選択し**ENTER**ボタンを押すと再生されます。

SHR-408.416Aでは一番新しい日を選択されているので日を変える場合は**RETURN**を押して左右キーで日を選択し**ENTER**ボタンを押すと再生されます。

検索

時間検索



PLAYをクリックします。

リモコン操作の場合は、**左右**ボタンを使用して矢印を動かし、検索したい時間上で**ENTER**ボタンを押すと再生されます。(矢印の動きは15分単位で動きます。)

秒単位での操作方法はカーソルを時間に置いて**ENTER**ボタンを押します。**上下**ボタンで時間を設定します。



再生をする際、最初の分割画面は 4分割になっています。

各chをFULL画面で見たい場合にはCHボタンを押します。

検索

時間検索



再生時に、▶▶&◀◀を押すと以下の倍率で再生倍速の変更ができます。

(×2×4×8×16×32×64)



再生状態から戻るには**RETURN** ボタンを押します。(上位の項目に戻ります。)

他の日付を検索するには再度選択します。

RETURN を続けて押すと検索画面からライブ画面まで戻ります。

検索

イベント検索



ライブ表示画面の上で、マウスの右ボタンをクリックすると下図のメニューが表示されるので**検索**を選択します。



パスワード欄をダブルクリックするとキーボードが表示されるので、パスワードを入力して

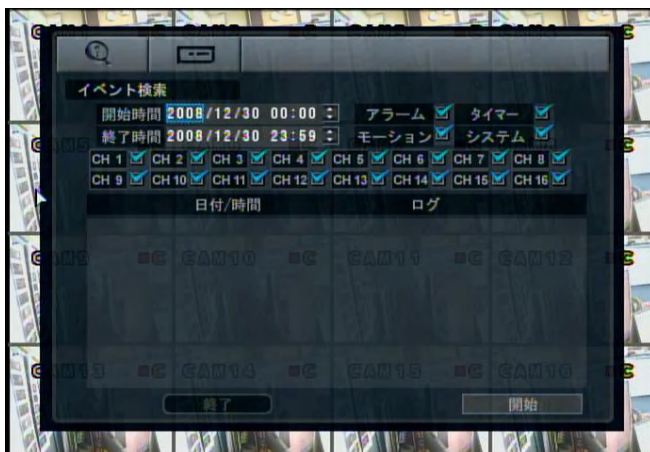
 ボタンをクリックします。

イベントログはモーション、アラーム、ビデオロスなどの履歴が保存されます。

リモコン操作の場合、録画されているイベントを検索するために**SEARCH**ボタンを押します。

ログイン画面が表示されるのでパスワードを入力してログインします。(初期設定は1234)

※検索操作が出来る使用者レベルはADMINとMANAGERに限られます。



イベントサーチをクリックします。

 ボタンをクリックして検索時間を設定。

次に検索するカメラにチェックを入れます

開始メニューをクリックします。

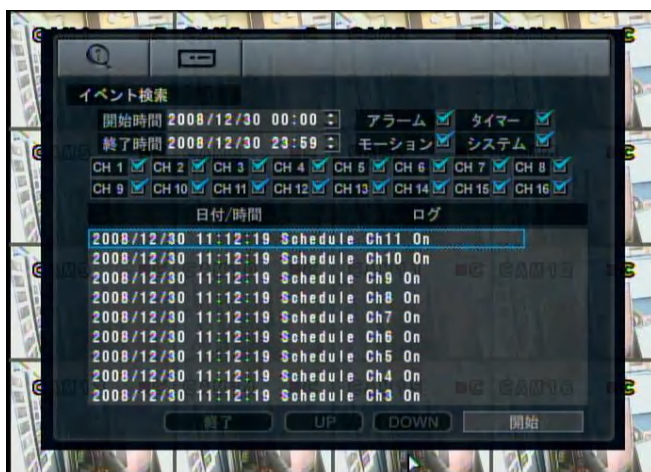
リモコン操作の場合、イベントログ画面を表示するには右矢印を使用してイベント検索を選択し

ENTERボタンを押します。

chなどの検索条件をかけて開始ボタンを押します。

検索

イベント検索



開始をクリックします。

リストアップされたイベントリストから、検索したい情報にカーソルを置き**ENTER**ボタンを押すと再生になります。



イベントログから選択された録画データが再生されます。再生操作は普通の再生と同じです。
ライブ画面に行くには **RETURN**ボタンを続けて押します。

※ご注意: イベントログには下記のような種類があります。

アラーム : 指定した時間帯のアラームログリスト

タイマー : 指定した時間帯のスケジュール録画リスト

モーション: 指定した時間帯のモーション検知リスト

その他 : 指定した時間帯全てのイベントリスト(ビデオロス、リモート接続等)

バックアップ

バックアップ



ライブ表示画面の上で、マウスの右ボタンをクリックし
バックアップを選択します。



パスワード入力画面が表示されるので、
パスワード欄をダブルクリックし、
キーボードからパスワードを入力し
ボタンをクリックします。

リモコン操作の場合はまず**MENU**を押します。パスワードを入力して(パスワードの初期値は1234)**ENTER**を押すとメインメニュー【システム設定、録画メニュー、バックアップ】が表示されるので【バックアップ】を選択します。

※バックアップはADMINユーザーのみが行えます。



各設定値を  をクリックして変更します。
開始メニューをクリックします。

バックアップの際は、正確なバックアップデバイスの選択とバックアップ時間の設定が必要になります。

項目の移動及び設定値の変更は上下左右ボタンで行います。

カーソルを置いている状態(枠が青色の状態)で**ENTER**ボタンを押すと枠の色が黄色に変わります
ので、上下ボタンを使用して設定値を変更します。

変更を適用するには再度**ENTER**ボタンを押し、変更をキャンセルするには**RETURN**ボタンを押します。

チェックボックスはマウスでクリックするか、変更したい場所を選択(枠が青色の状態)してから

ENTERボタン押すとチェックのON/OFFが出来ます。

バックアップ

バックアップ



下記項目を適宜選択し、
【開始】ボタンを選択して下さい

※ご注意:
USBフラッシュメモリを使用する場合は、
必ずバックアップメニューに入る前に
USBフラッシュメモリを差し込んでください。

デバイス: CD-RかUSB Storageを選択します。

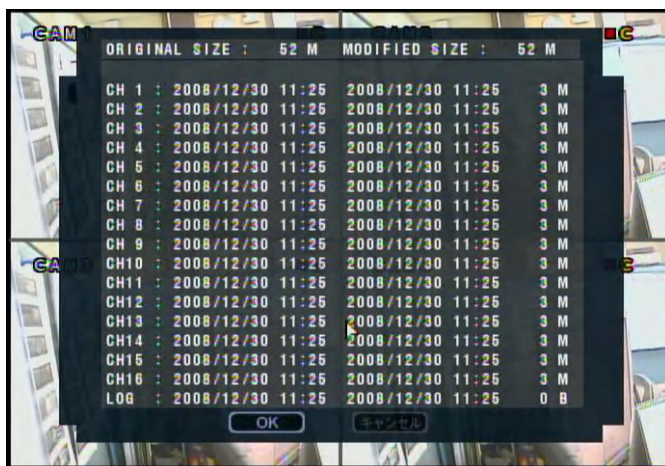
開始時間 / 終了時間: バックアップの開始時間 / バックアップの終了時間

持続モード: 'ERASING&WRITING' (既書き込み済みのデータを消去してから書き込み)
'BURNING' (書き込み)のどちらかを選択します。

ビデオ / オーディオ: バックアップを実行するchと音声を選択します。

タイトル: バックアップするデータのタイトル名を設定します。

イベント: 選択するとイベントロゴも一緒にバックアップされます。



OKをクリックします。

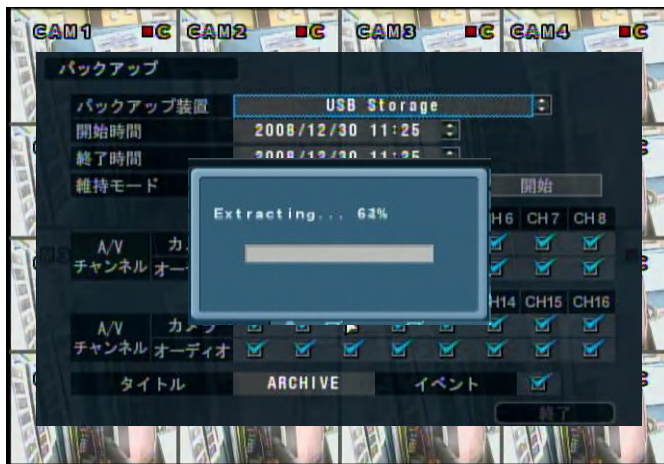
指定された時間の各chのバックアップする時間とデータサイズが表示されます。

バックアップするデータ容量の合計を確認し問題なければ、OKが青色の状態でENTERボタン押します。

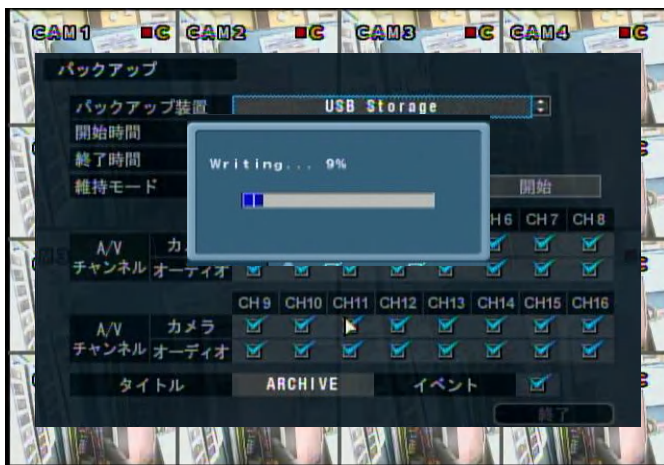
※指定した範囲がバックアップメディア容量を超える場合、バックアップメディア容量までのバックアップになりますので、設定した内容がバックアップメディアの容量を超えないようにご注意ください。

バックアップ

バックアップ



バックアップの進行状況が表示されます。



バックアップ中は、途中でバックアップを中止したり他の操作を行うことはできません。

バックアップ中でも録画は継続しています。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

設置

・システム推奨環境

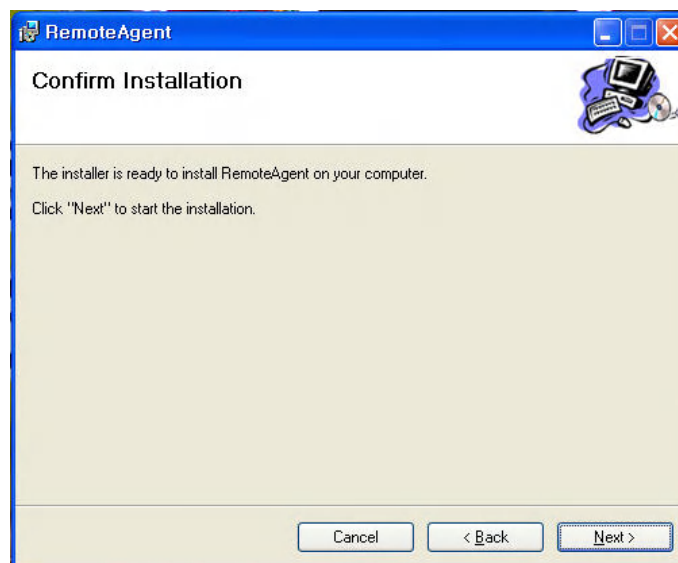
- ① CPU : Pentium-500(最低)、Pentium 4以上を推奨
- ② OS : Windows 2000以上、DirectX 7.0A以上
- ③ メモリ: 128 MB以上
- ④ VGA : DIRECT-X対応グラフィックカード
※IMM4 Codec (バックアップファイルの再生時)

・DVR Remote Agentのインストール

- ① CD-ROMからアイコンをダブルクリックすると、インストーラーが起動します。
下記の画面で[Next>]をクリックします。

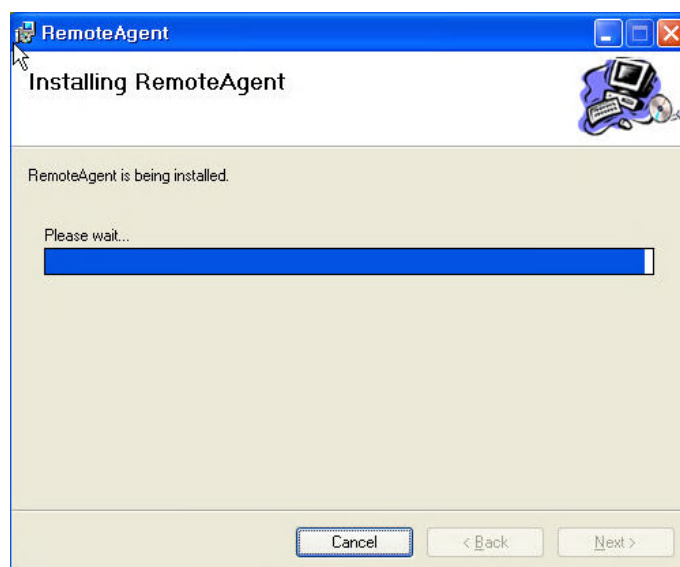


- ②実行中の他のソフトウェアを終了してから、Nextボタンを押します。

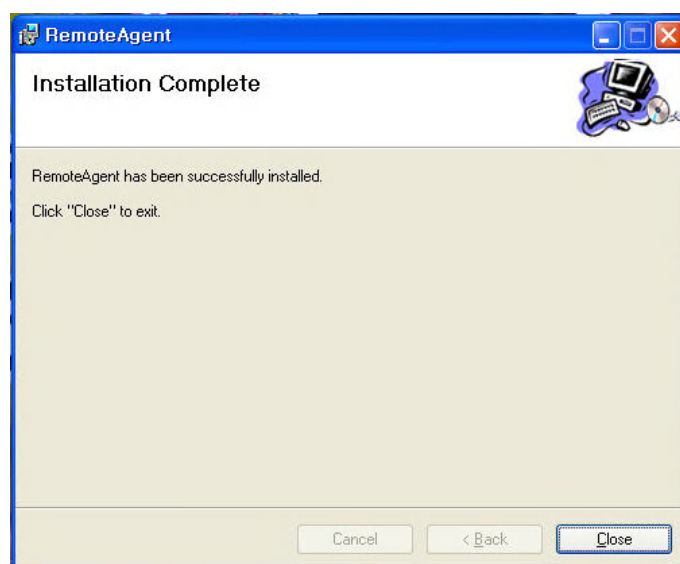


クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

- ③ ファイルがコピーされる過程が表示されます。

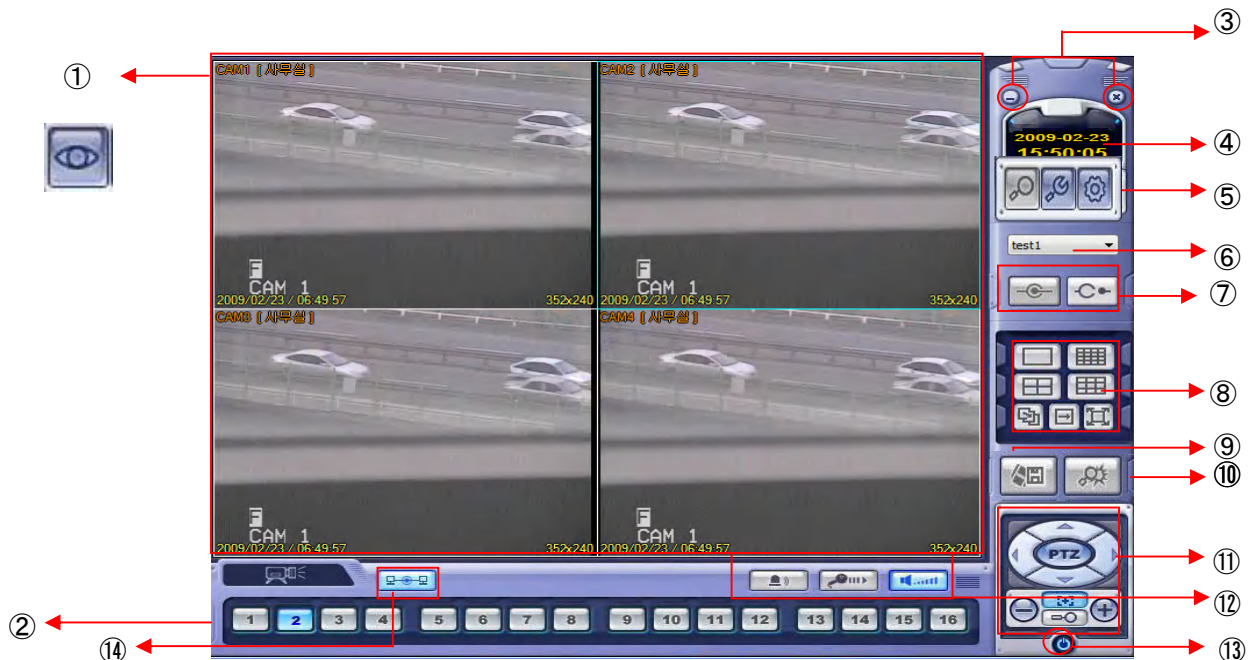


- ④ Closeを押すと DvrRemoteAgent プログラムのインストールが完了します。



クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

機能紹介



- ① メイン画面：現在モニタリングしているカメラのライブ画面を表示します。
- ② カメラ選択ボタン：接続しているカメラチャンネル番号（1～4）を選択表示します。
画面分割選択で1画面選択を指定しないと切り替わりません。
- ③ 最小化/終了ボタン：ソフトウェア画面を最小化/終了します。
- ④ 日付・時間ウィンドウ：現在の日付と時間を表示します。
- ⑤ SEARCH（検索）：検索モード画面を表示します。
設 定（設定）：ネットワーク及びオプション設定する設定ウィンドウを表示します。
- ⑥ DVR選択：接続するDVRのIDを選択します。
- ⑦ 接続ボタン：DVRに接続します。
切断ボタン：DVRへの接続を切断します。
- ⑧ 画面分割選択：表示モードを変更します。
- ⑨ AVIファイル保存：ライブ映像をAVIファイルで保存します。
- ⑩ イベントビューワー：DVRの現在のイベントを表示し、映像を検索します。
- ⑪ PTZコントロールボタン：カメラのPTZ及びフォーカスを調整します。（8ch、16ch）
- ⑫ オーディオ/アラームボタン：双方向音声通信、音声オン/オフ、アラームオン/オフを選択します。
- ⑬ 終了ボタン：ソフトウェアを終了します。
- ⑭ 接続状態：DVRの接続状態を表示します。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）



ローカル設定

ご使用のPCから、遠隔地にあるDVRに接続するための設定を行う項目

設定情報

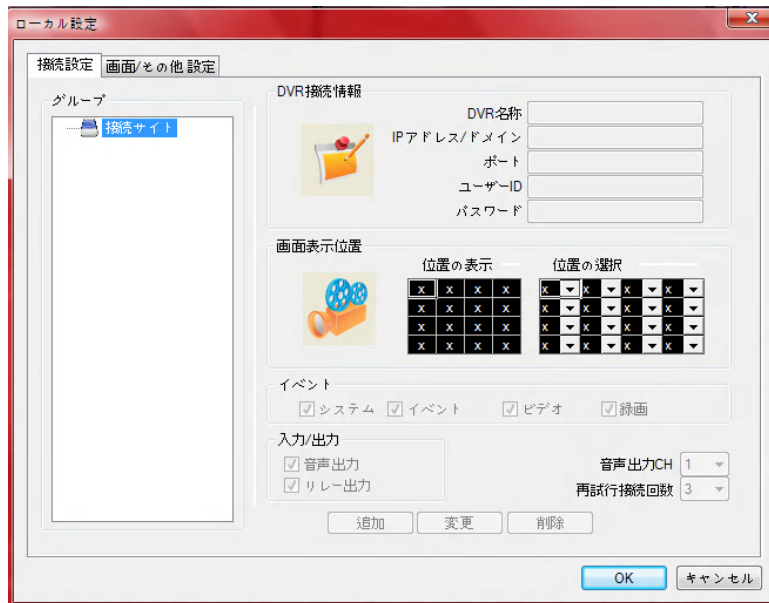
- ① グループ：登録されているDVRのリストを表示する項目
- ② DVR接続情報：DVRにログインする為の情報を登録する項目
- ③ 画面表示位置：表示させるカメラのchと、表示させる場所を指定する項目
- ④ イベント：システム、アラーム、ビデオ、録画の有効無効を選択する項目
- ⑤ 入力/出力：音声出力、リレー出力の有効無効を選択する項目
- ⑥ 音声出力ch：モニタリングする音声chの選択
- ⑦ 再試行接続：接続のリトライ回数を設定する項目
- ⑧ 追加/変更/削除：上記設定内容を追加、編集、削除する項目

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

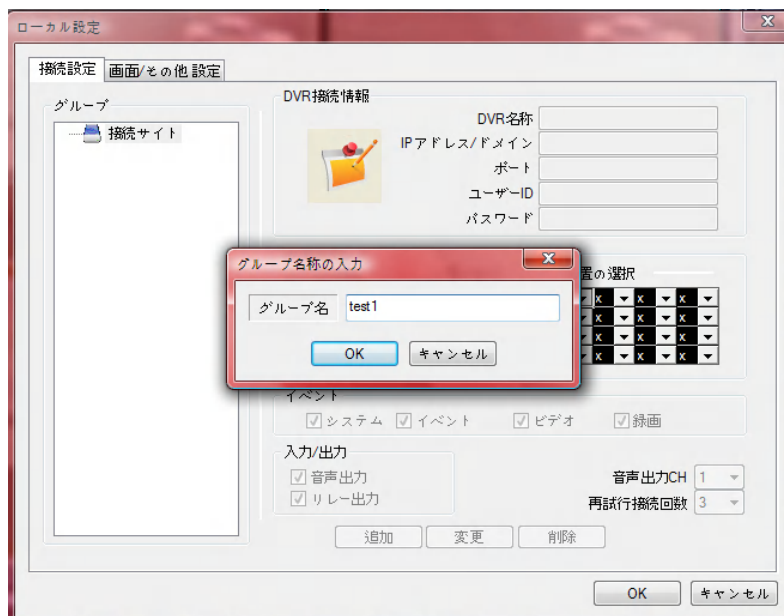


グループ追加

接続先DVRの新規追加手順

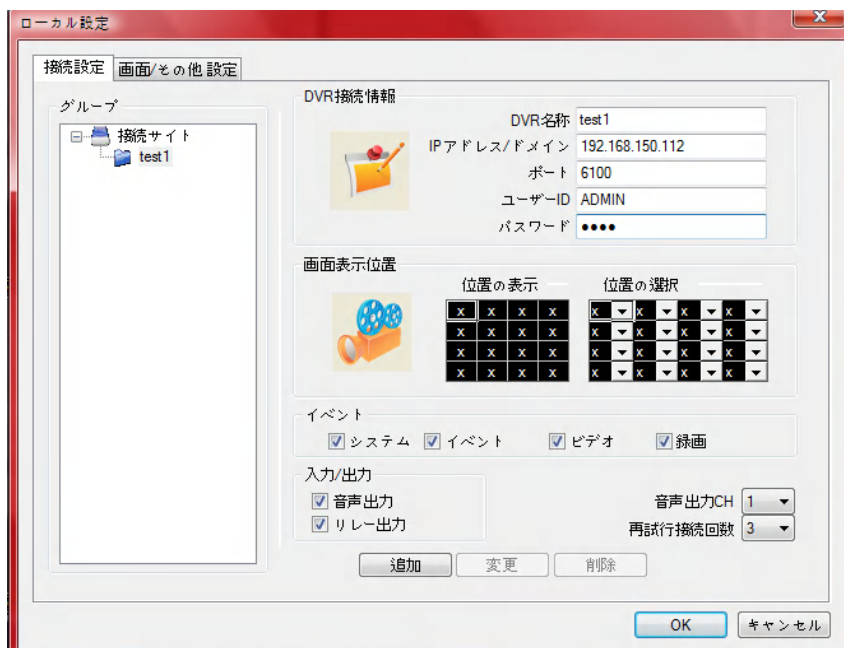


① 左上の‘接続サイト’の部分をクリックして“グループの追加”を選択します。

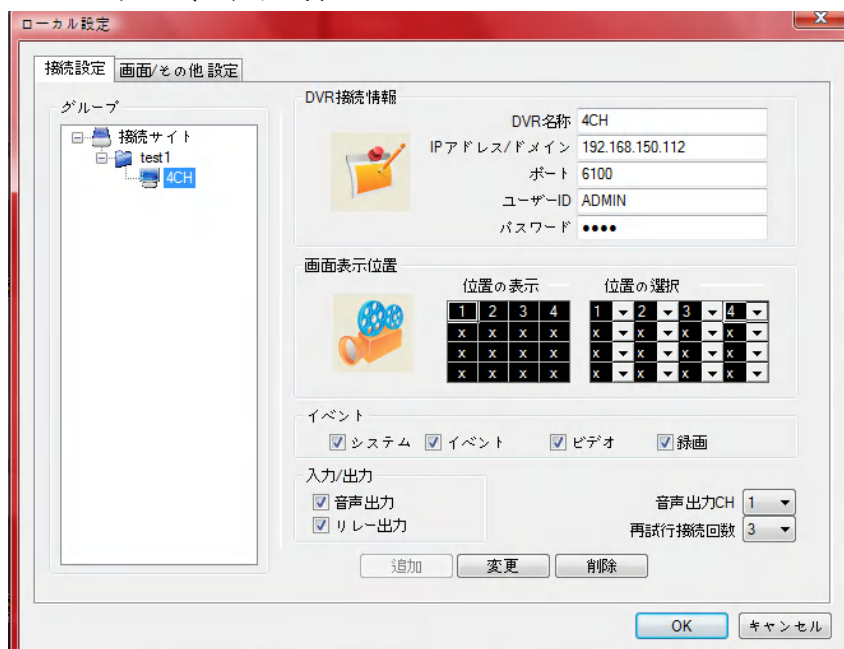


② グループ名を入力します。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

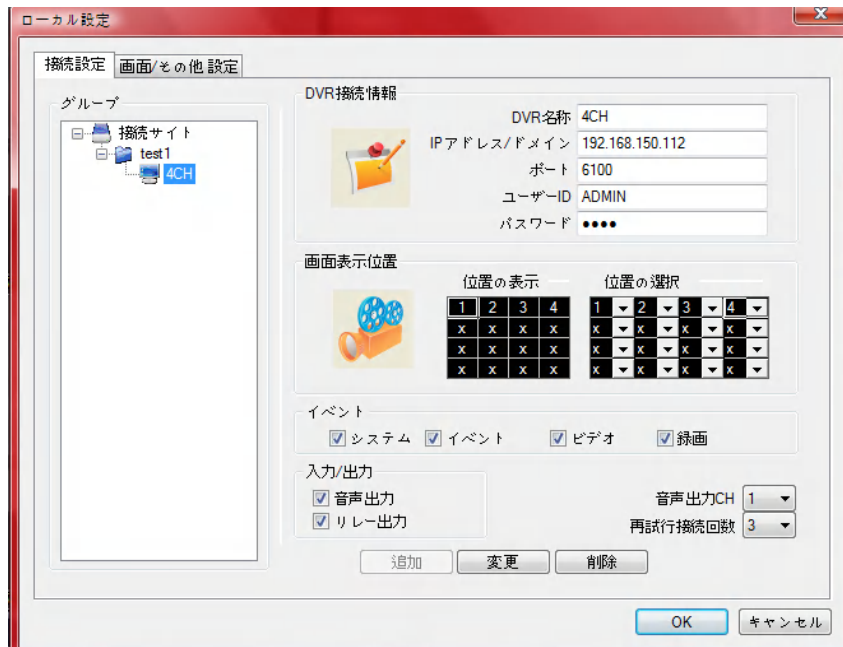


- ③ DVRの情報を入力します。(DVR名称、IPアドレス/ドメイン、ポート、ユーザーID、パスワード)



- ④ 表示するカメラとポジションを指定し、イベント、入出力等のオプションを選択してから‘追加’ボタンを押します。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

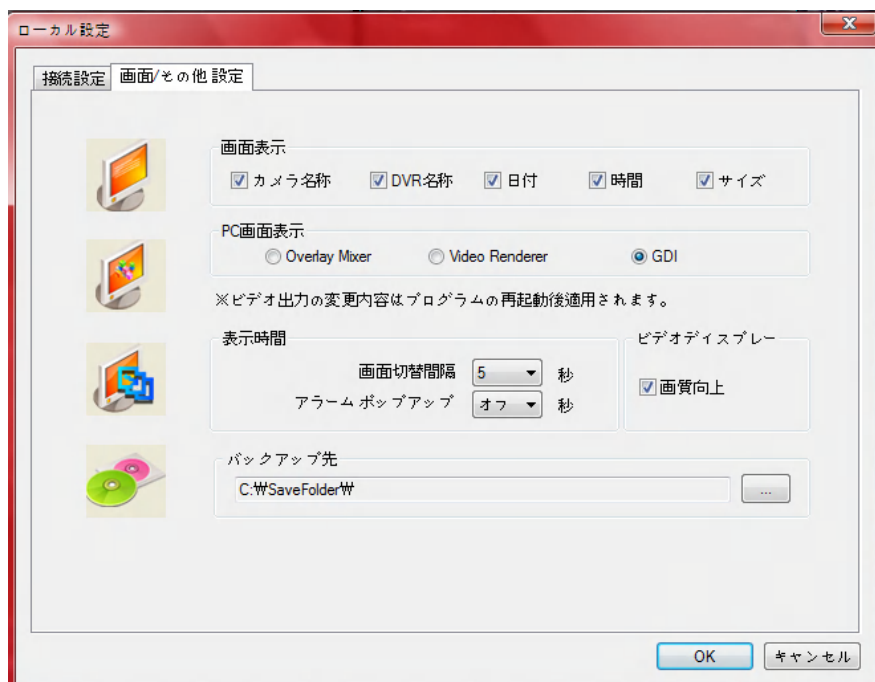


- ⑤ 接続先のDVRのリストが左上段に作成されます。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）



画面/その他設定



- ① 画面表示：監視画面に表示する項目を選択します。
- ② PC画面表示：ビデオ出力を選択します。
 - － Overlay Mixer：CPUを経由せず出力します。
 - － Video Renderer：CPUを経由して出力します。
 - － GDI：上記二つの方法では画像が表示されない場合使用します。
- ③ 表示時間
 - － 画面切替間隔：画面切替間隔を設定します。(2～300秒)
 - － アラームポップアップ：アラーム発生チャンネルのポップアップ時間を設定します。(2～60秒) / オフ
- ④ ビデオディスプレイ
 - － 画質向上：送信されて来る画像の画質を向上させる設定です。
チェックすると、送信される画像のモザイク化を出来るだけ軽減します。
- ⑤ バックアップ先：PCのどこへバックアップするかを指定します。(Cドライブ以外を推奨)

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

DVRリモート設定

DVR本体の設定を遠隔で行います。

ログイン画面のスクリーンショット。DVR名称: 4CH, ユーザーID: ADMIN, パスワード: [入力欄], OK, キャンセル

DVRに接続後  ボタンを押して設定モードに入ります。

パスワードを入力し【OK】をクリックします。

※注意

本体側で設定中は遠隔での設定はできません。

録画

リモート設定画面のスクリーンショット。録画設定、センサー録画設定、連続/モーション録画スケジュールなどの設定項目が示されています。

・スケジュールモード

: 週間/日間(週間モードの場合、曜日毎に設定)

・プリイベント録画時間

: イベント発生時、イベント発生時間前に遡って録画
(0 ~ 5 秒)

・ポストイベント録画時間

: イベント発生時、発生後から設定した時間だけ録画
(5 ~ 180秒)

録画属性画面のスクリーンショット。録画属性設定画面のスクリーンショット。CH、サイズ、フレーム数、画質、音声の設定項目が示されています。

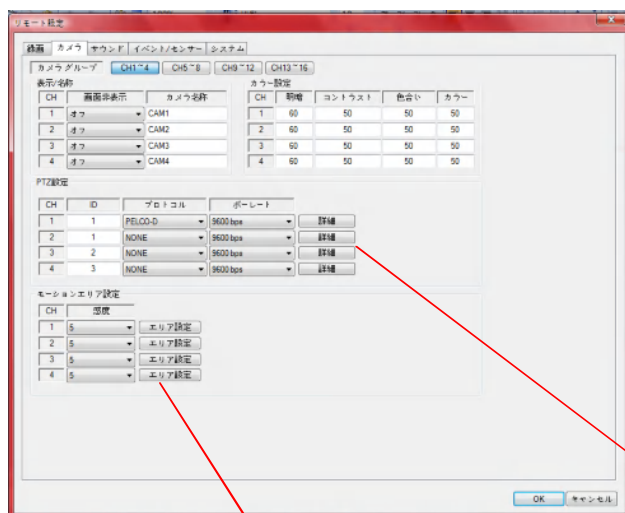
・センサー録画設定

・連続/モーション録画スケジュール

各々設定ボタンを押すと、左図の様な以下の設定項目を変更する画面が表示されます。

- サイズ: 画面の解像度
- フレーム数: 1秒間の録画フレーム数
- 画質: LOW(低)、基本、HIGH(高)、最高
- 音声: 音声のオン/オフ

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

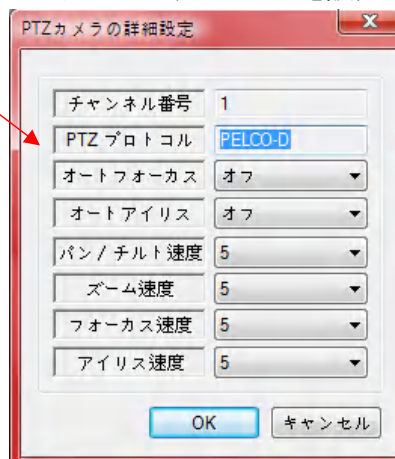


カメラ

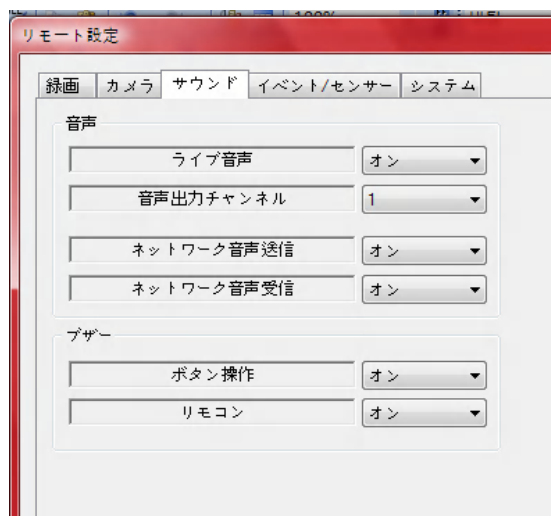
- ・表示/名称
画面表示/非表示、カメラ名称を設定
- ・カラー設定
明暗、コントラスト、色合い、カラーを設定
- ・PTZ 設定（8ch、16chのみ）
ID、PTZプロトコル、ボーレートを設定



エリア設定ボタンを押してモーション領域を設定
マウスドラッグで領域を指定し、ドラッグ解除で表示されるメニューから以下を選択
選択 / 未選択 / キャンセル



詳細ボタンを押してPTZカメラに関する設定をします。（8ch、16chのみ）

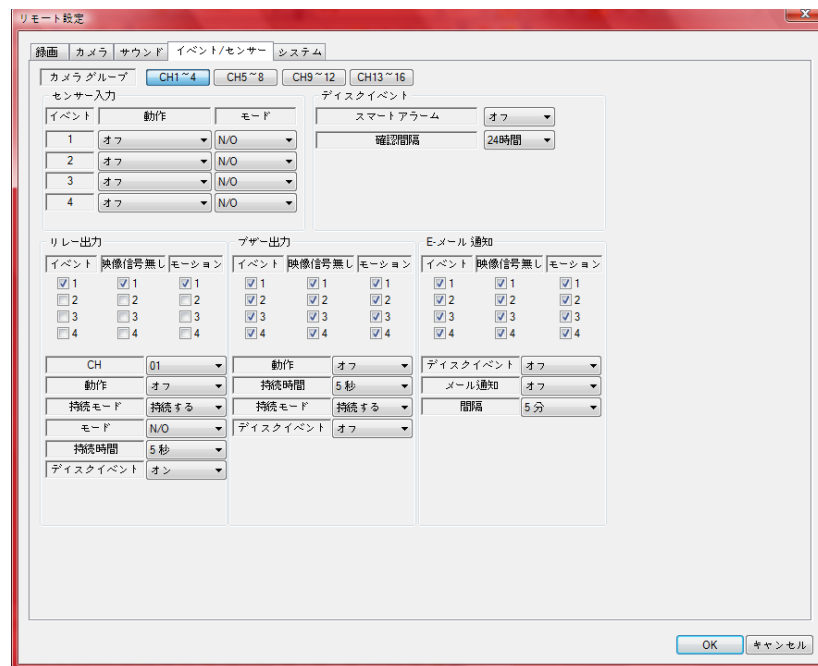


サウンド

- ライブ音声：ライブ音声オン/オフ設定
- 音声出力チャンネル：ライブ音声を聞くチャンネルの選択
- ネットワーク音声送信：送信のオン/オフを選択
- ネットワーク音声受信：受信のオン/オフを選択
- ボタン操作：ボタン操作音のオン/オフ
- リモコン：リモコン操作音のオン/オフ

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

イベント/センサー



・センサー入力

- 各チャンネルのアラームのオン/オフ、接続タイプを設定

・ディスクイベント

- スマートアラーム：HDD異常があるか確認します。
- 確認間隔：HDDをチェックする時間の周期を設定します。

・リレー出力

- イベント、映像信号無し(ビデオロス)、モーションが発生した際の出力オン/オフをチャンネル別に設定
- 動作：アラームセンサーとのリレー接続を設定します。
- 持続モード：反応するリレーを設定します。(持続する/しない)
- モード：リレータイプを設定します。(N/O、N/C)
- ディスクイベント：イベントが発生した際のアラームのオン/オフを設定

・ブザー 出力

- 各チャンネルのアラーム接続及びタイプを設定します。
- 動作：オン/オフ設定します。
- 持続時間：5秒～5分、あるいはキーを押すまで
- 持続モード：反応するリレーを設定します。(持続しない/持続する)
- ディスクイベント：イベントが発生した時のブザーをオン/オフします。

・E-メール通知

- チェックすると、アラーム、ビデオロス、モーションが発生した際に、E-メールを送信します。
- ディスクイベント：オンにするとHDDに異常があった場合、E-メールを送信します。
- メール通知：メール送信のオン/オフを設定します。
- 間隔：メールを送信する周期を設定します。ここで設定した時間毎に一括送信します。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

システム

リモート設定

録画 カメラ サウンド イベント/センサー システム

システム情報

F/Wバージョン	5.15.039.32ENCUTBPM	HDD搭載数	1
H/Wバージョン	0.0.0.1	IPアドレス	192.168.1.21
ビデオ信号方式	NTSC	MACアドレス	00-11-5F-01-2a-6e
HDD容量	163	ファームウェア アップグレード	

メール設定

☒ 標準サーバー使用 FTP

SMTPサーバー

ポート セキュリティー

ユーザー パスワード

ユーザー

ID	グループ	E-メール	通知
ADMIN	ADMIN		いいえ

追加 変更 削除

ネットワーク速度

上書き録画

録画保存制限

OK キャンセル

- ・システム情報
 - －現在のシステム状態を表示します。
- ・メール設定
 - －メール送信を行うための設定
- ・ユーザー
 - －ユーザーの追加、変更、削除を行います
 - －追加/変更ボタンを押し右図の内容を設定
- ・ネットワーク速度
 - －ネットワークスピードを設定
- ・上書き録画
 - －HDDの上書きオン/オフの設定
- ・録画保持制限
 - －一定期間の録画データを保持する必要がある場合はこの設定をオンにします。

ユーザー追加 / 修正

ユーザーID

グループ

E-メール

メール通知

パスワード

パスワード確認

OK キャンセル

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

モニタリング

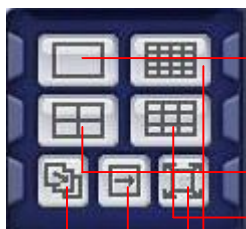
ネットワーク ID 選択



- ・サーバーに接続するIDを選択します。接続が成功すると画像が表示されます。
- ・IDは設定メニューで追加、変更、削除ができます。



画面分割選択



- ・ 1画面：選択したカメラ映像を1画面で表示します。
(ビデオの選択はカメラ選択ボタンでします。)
 - ・ 4画面分割：4画面分割モード
 - ・ 9画面分割：9画面分割モード
 - ・ 16画面分割：16画面分割モード(16ch製品のみ)
 - ・ 画面自動切替：画面をシーケンシャル表示します（分割モードでも可能）
 - ・ 画面手動切替：マウスクリックで画面を切替えます。
 - ・ 全画面：現在モニタリングしている映像を全画面表示します。
- * マウスのダブルクリックで全画面モードと分割画面の切り替えが出来ます。

※ マルチDVRクライアント

DVR4台の各チャンネルのライブモニタリング、検索、データバックアップの設定が同時にできます。

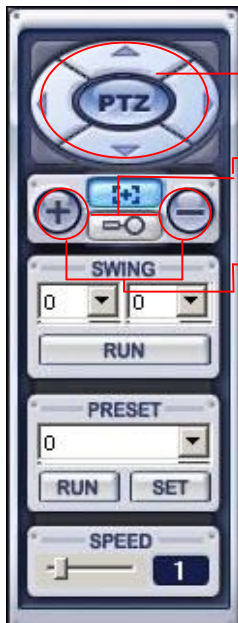
クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

P/T/Z 制御

PTZ操作の方法



- ・ PTZボタンを押します。



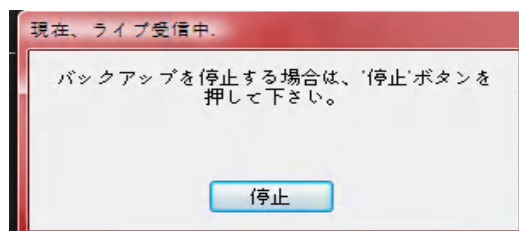
- ・ P/T/Zコントローラー
： 方向ボタンでコントロールします。
- ・ フォーカス/ズーム選択ボタン
： +, - ボタンでコントロールします。
- ・ +, - ボタン：フォーカス及びズームを制御します。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

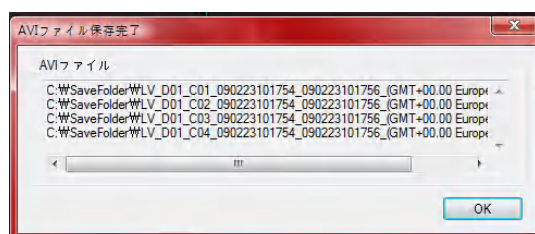


ライブ動画保存

ライブ画像をAVIファイルに変換し保存し続けます。



- ・ライブ動画保存ボタン  を押すと、即座にファイル変換を開始し、左図の停止ボタンを押すまで、ライブ画像をAVIファイルに変換し続けます。

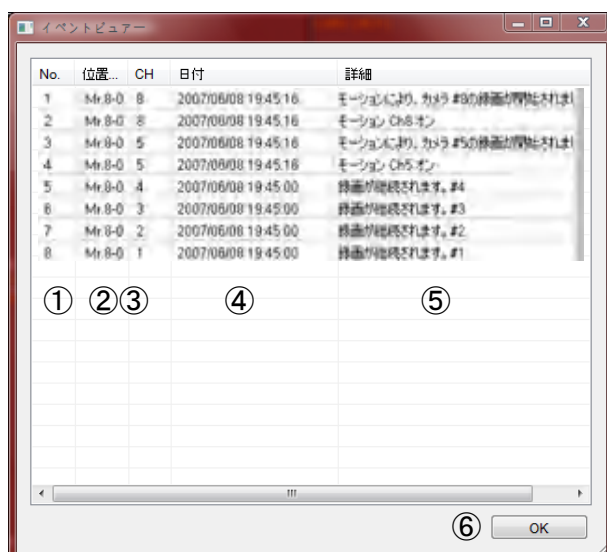


- ・「停止」ボタンを押すと保存を停止し、右図のように、保存されたディレクトリとファイル名を表示します。
- ・保存されたAVIファイル映像はバックアッププレーヤー及び一般的な動画プレーヤーで再生が可能です。
- ・動画再生にはDivX 5.1以上とIMM4コーデックが必要です。



イベントビューアー

発生したイベント内容を一覧表示します



- ① イベントの発生順を出力します。
- ② イベントが発生したDVR番号を表示します。
- ③ イベントが発生したカメラ番号を表示します。
- ④ イベントが発生した日付と時刻を表示します。
- ⑤ 発生したイベントの詳細を表示します。
- ⑥ OKを押すと再生画面を表示します。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）



検索

録画データを検索して再生を行います。

機能説明

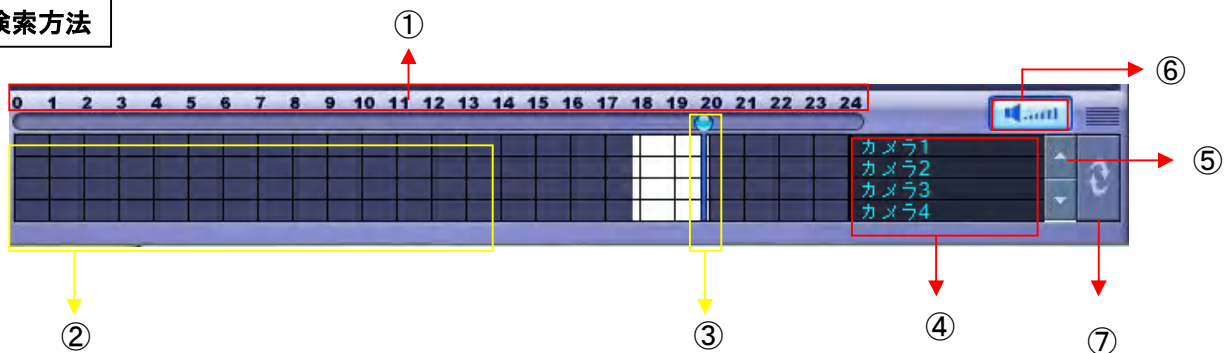
右図のアイコンをクリックすると以下の画面に切り替わります。



- ① メイン画面：選択された録画データ映像を再生します。
- ② 検索バー：録画データのある時間帯をバーで表示します。
- ③ ライブ：ライブ画面に戻ります。
ローカル設定：クライアントソフトの設定画面を表示
リモート設定：ネットワーク経由でDVR設定画面を表示
- ④ 画面分割選択：画面分割モードを変更します。
- ⑤ 検索オプション：録画データのバックアップ及びイベント検索をします。
- ⑥ カメラch選択ボタン：各カメラch映像を1画面表示します。
- ⑦ クイック検索：指定した日付及び時間で録画データを検索します。
- ⑧ 操作ボタン：再生映像をコントロールします。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

検索方法



- ① 0～24時までの時間を表示します。
- ② 録画状態を表示します。(グレー：録画なし、白：録画データあり)
- ③ 検索バー：検索バーをドラッグして見たい時間の映像データを検索します。
- ④ 録画状態をチャンネル別に確認することができます。
- ⑤ 5チャンネル以上の場合、次のチャンネルリストを表示します。
- ⑥ オーディオの音量を調節します。
- ⑦ チャンネル別に録画情報を更新します。

日付及び時間を入力すると、
検索バーが移動します。

プログラム終了ボタン

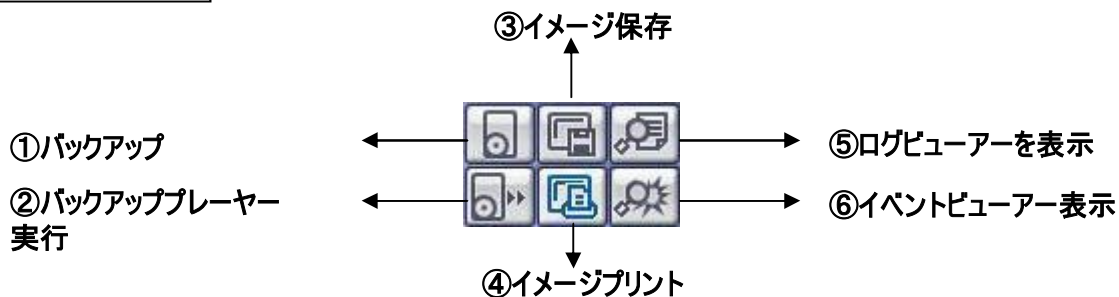


映像を正倍速で再生します。
(再生・逆再生)

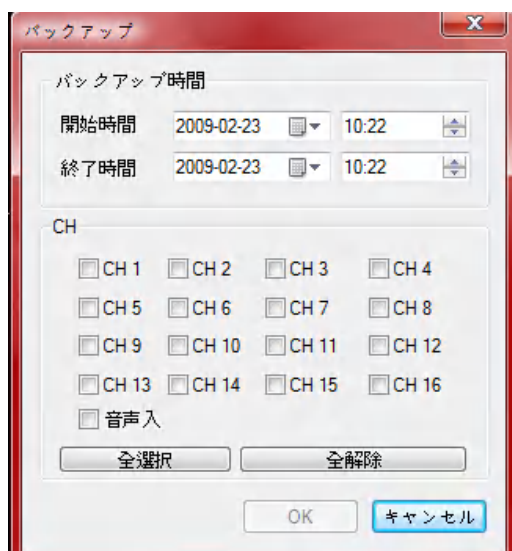
検索速度調節
64倍(再生・逆再生)

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

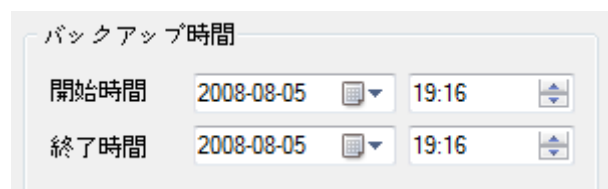
検索オプション



① バックアップ - DVRに保存された録画データをPCにバックアップします。



・バックアップ時間：開始時間と終了時間を入力してバックアップする映像データの期間を指定します。

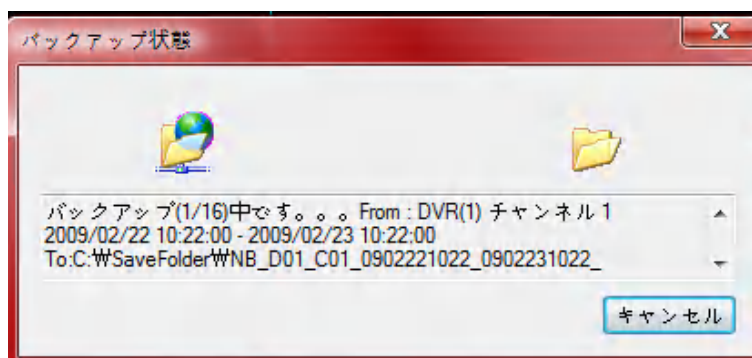


- ・チャンネル：バックアップしたいカメラのCHをチェックします。
- ・音声入：チェックすると音声を含めて保存します。

すべて選択：全チャンネルを選択します。
すべて解除：全チャンネルを選択解除します。

・確認ボタンを押すと下のバックアップ状態ウィンドウが表示され、バックアップを開始します。

途中でキャンセルボタンを押すと、中止時点までのデータを保存しバックアップを停止します。



・バックアップが完了すると、バックアップ状態ウィンドウが消えて、データはPCの指定したフォルダに保存されます。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

② バックアッププレーヤー実行 (DVR プレーヤー)



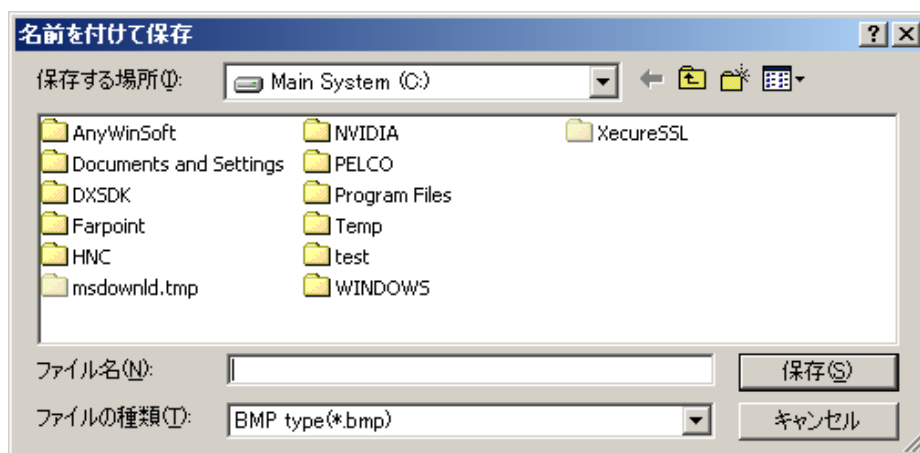
- ① 再生映像を表示します。（1画面表示のみ可能です。）
- ② 再生したいバックアップファイルを選択します。ファイル名がバックアップ時間になっています。
- ③ 現在再生されているファイルのトータル再生時間を表示します。 Total: 00:02:00
- ④ 現在再生されている日付及び時間を表示します。ここから日付及び時間での直接検索も可能です。
- ⑤ 操作ボタン:再生映像を操作します。

- ・ バックアップデータはAVIファイル形式で保存され、再生は専用バックアッププレーヤでも Window Media Playerでも再生が可能です

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

③ イメージ保存（静止画）

現在の映像をキャプチャーして、内蔵ハードディスクやUSB外付けハードディスク等に保存します。



- ・ 映像データの再生中に、イメージ保存アイコンをクリックします。
- ・ ファイル名、ファイル形式(JPG,BMP)、保存先などを指定した後、保存ボタンを押します。
- ・ リモートエージェントの映像データが保存されます。

④ イメージプリント – 現在の映像をキャプチャーして、接続したプリンタから出力します。

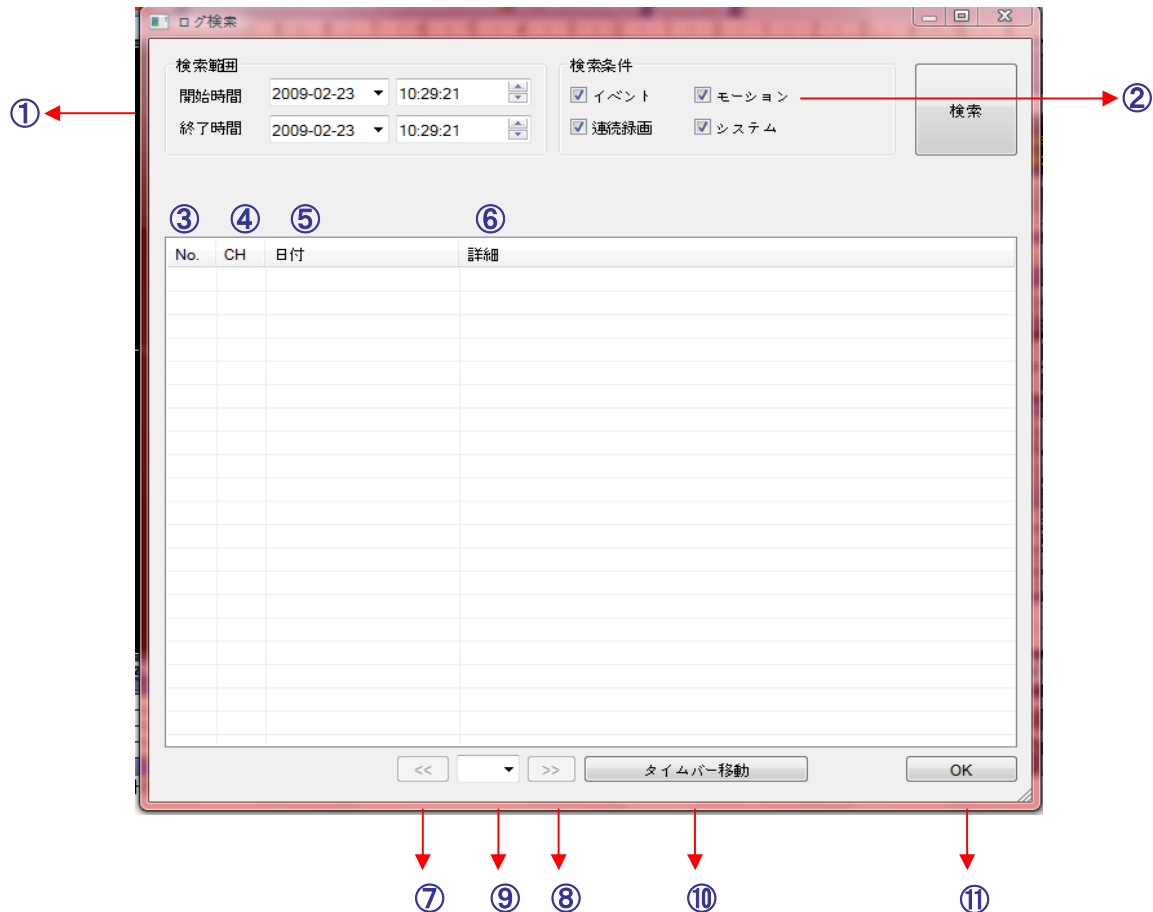


- ・ 映像データの再生中に、イメージプリントアイコンをクリックします。
- ・ プリンタ設定ウィンドウが表示されます。プリンタを選択しOKボタンを押します。
- ・ リモートエージェントソフトウェアの映像データが印刷されます。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

⑤ ログビューアーを表示

DVRで発生したイベントログから録画データを検索します。

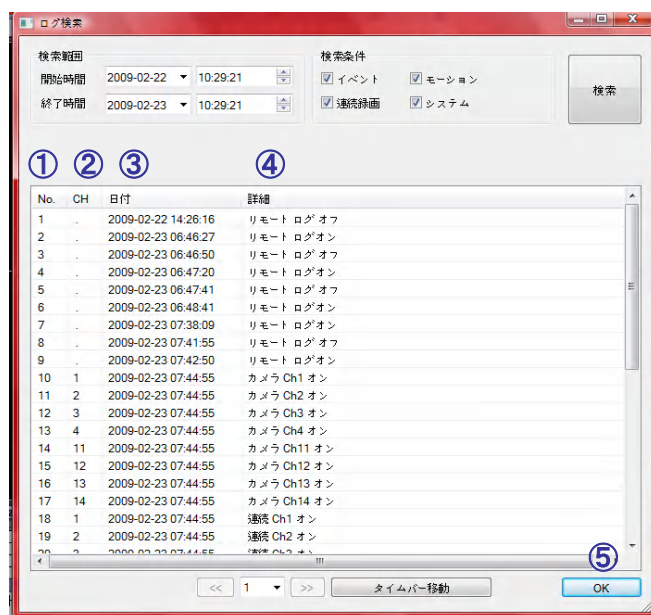


- ① イベント検索する日付の開始時間と終了時間を入力します。
検索ボタンを押すと下のイベント表示ウィンドウに各種イベントが表示されます。
- ② 検索条件を選択します。
- ③ イベントログの発生順を表示します。（1ページあたり最大イベントログ数は100件です）
- ④ イベントが発生したカメラ番号を表示します。
- ⑤ イベントが発生した日付と時刻を表示します。
- ⑥ 各項目のイベント詳細情報を表示します。
- ⑦ 前のページに移動します。
- ⑧ 次のページに移動します。
- ⑨ ユーザーが指定したページに移動します。
- ⑩ イベントログを選択した後でクリックすると、検索機能ウィンドウの時間バーが移動します。
- ⑪ イベント映像を再生表示します。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

⑥ イベントビューアー表示

現在DVRで発生しているイベントをリアルタイムで表示し、映像を検索します。



- ① イベントの発生順を出力します。
- ② イベントが発生したカメラCHを表示します。
- ③ イベントが発生した日付と時刻を表示します。
- ④ 発生したイベントの内容を表示します。
- ⑤ OKを押すと再生画面を表示します。

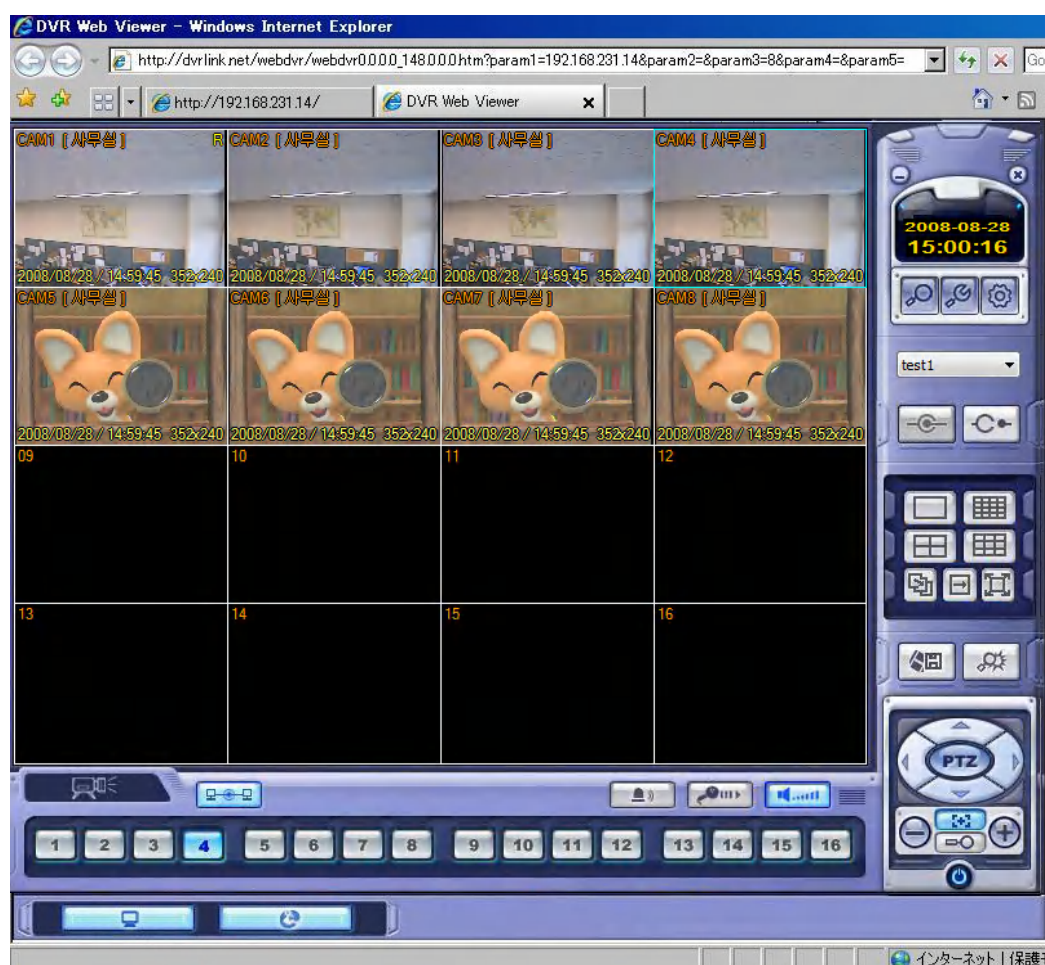
クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）

ウェブクライアント

インターネットエクスプローラーを使ってDVRの画像再生を行います。

ウェブクライアント接続

- ① インターネットエクスプローラーのアドレスウィンドウにDVRのIPアドレスを入力しEnterキーを押します。
- ② Active-Xの警告ウィンドウが起動する場合、許可して作業を継続してください。



- ③ インターネットエクスプローラー画面にウェブクライアント画面が表示されます。
- ④ 全ての機能はリモートクライアントソフトウェアと同じです。

クライアントソフト（遠隔接続用ソフト）





保証書

製品型番	SHR-404A SHR-408A SHR-416A	販売店名
シリアルナンバ(S/N)		
お買い上げ年月日		
保証期間	商品お買い上げ後1年間	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※お願い: 太線で囲まれた欄はお買い上げ時に必ず記入下さい。
本書は大切に保存して下さい。再発行は致しません。

<保証規定>

1. 取扱説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理致します。
販売会社もしくは弊社へ本ページを切り取ってお申し付け下さい。

<保証条件>

次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。

1. 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による損傷。
3. 上記項目に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合。

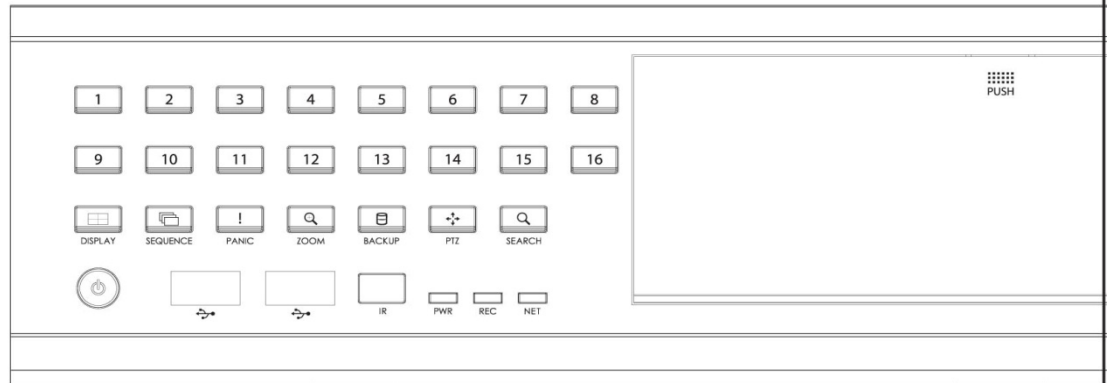
<メンテナンスについて>

1. 防犯・監視用途でご使用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧めいたします。
詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご連絡ください

株式会社 ケービデバイス

本社 〒600-8076京都市京都市下京区高辻通柳馬場西入泉正寺町465-2たからビル301
TEL 075-354-3372 FAX 075-354-3382

製品の定格及びデザインと仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。



SHR-404A / SHR-408A / SHR-416A